



ちばの緑

令和5年1月1日

第 81 号

一般社団法人 千葉県造園緑化協会



雪吊りで冬支度（千葉県立幕張海浜公園内 見浜園）

目次

年頭のごあいさつ（千葉県知事）	P 2
新年のごあいさつ（協会会長）	P 3
令和4年度千葉県公園緑地行政の動向について	P 4
2023年度創設の資格制度「緑地樹木剪定士」	P 7
門松づくり講習会と寄贈	P 9
千葉県魅力ある建設業指針協議会（CCIちば）	
松戸市立牧野原小学校出張授業	P 10
いすみ市立国吉中学校出張授業	P 11
高等学校への出前造園実習	
千葉県立葉園台高等学校	P 12
千葉県造園協会の森（横芝光）	
フォローアッププロジェクト活動について	P 13
千葉県関係部局との意見交換会	P 15
関東甲信造園建設業協会協議会	P 18
全国造園フェスティバル「花と緑で美しい日本を！」	P 19

街路樹剪定士	
～「切るも剪定、切らぬも剪定」～	P 21
植栽基盤診断士	
～植栽基盤のスペシャリストとして、技術提案を～	P 22
伐木等業務（チェーンソー）特別教育講習会	P 23
フルハーネス特別教育講習会	P 24
2022年度 日本造園学会全国大会報告	P 25
第38回 全国都市緑化くまもとフェア	P 26
樹木紹介⑨「マルメロ ばら科」	P 28
カシノナガキクイムシとナラ枯れ	P 29
委員会報告	P 30
お知らせコーナー（表彰）	P 33
千葉県立我孫子高等技術専門校	
令和5年度訓練生募集のお知らせ	P 34
会員名簿	P 35
千葉県の巨樹・古木紹介シリーズ②	P 39



年頭のごあいさつ

千葉県知事 熊谷 俊人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃より、皆様には、造園緑化に関する知識の普及啓発、造園技術の向上等に取り組まれるとともに、県道の緑化活動などの社会貢献活動を積極的に推進されるなど、本県の美しい景観の保全・形成や、みどり豊かで快適な県土づくりに向けて御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。また、正月を迎えるにあたり、県庁等に立派な門松を飾っていただき、感謝申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症への対応や、原油価格・物価の高騰などの課題に全力で取り組みました。今年も、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、将来を見据え、様々な分野で未来への投資を行っていきます。

防災面では、貴協会と「災害応急対策に関する業務協定」を締結しており、関係機関との連携の充実強化を進めて災害対応力を向上させるとともに、インフラの強靱化などにより「日本一の防災県」を確立していきます。

経済面では、経済産業活動の回復と更なる活性化を図るため、今年度中に第5次ちば中小企業元気戦略を策定します。さらに、広域交通網や豊かな自然など、本県の優位性を最大限に活用し、戦略的な企業誘致や観光振興などを図ります。

農林水産業では、ICT等の活用による生産性向上や担い手の確保などに取り組むとともに、成田新市場と連携した海外向け商談会の開催などにより県産農林水産物の魅力を発信します。

県内の活力を一層活性化していくための社会インフラの整備に関しては、首都圏中央連絡自

動車道の全線開通や、北千葉道路の早期整備、富津館山道路の4車線化に取り組むとともに、その整備効果を波及させるためアクセス道路の整備を進めます。また、成田空港第3滑走路等の整備や、「新しい成田空港」構想の検討に合わせて、地域と空港の発展が好循環する地域づくりを推進します。

そして、持続可能な社会を次世代へ引き継いでいくため、SDGsの考え方を踏まえた施策を推進するとともに、一人ひとりが違った個性や能力を持つ個人として尊重され、社会に参画し、誰もがその人らしく活躍できる環境づくりを推進します。

また、「2050年カーボンニュートラル」に向けては、温室効果ガスの排出量削減だけではなく、イノベーションなどの施策を推進し、環境保全と経済成長の好循環を生み出せるよう取り組んでいきます。

最近では、二地域居住などへの関心が高まっていることから、豊かな自然の中で自分らしく暮らすことができる、千葉ならではのライフスタイルの魅力を発信します。

今年も、千葉県が誕生してから150周年を迎える節目の年です。ぜひ、各地の記念行事に足を運んでいただき、これまでの歩みを振り返るとともに、未来の千葉県に思いを馳せていただきたいと思っております。

結びに、一般社団法人千葉県造園緑化協会のみならずの御発展と、会員の皆様様の御活躍を祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

(一社)千葉県造園緑化協会
会長 角田 敬一

新年あけましておめでとうございます。

平素より当協会の会員の皆様及び国、県、市町村、関係団体の皆様には協会の事業活動に対し格別のご支援、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

一般社団法人千葉県造園緑化協会は、これまで様々な活動を通じて、緑豊かで安心できる生活環境を創造し社会に貢献しようと、会員一丸となって取り組んでまいりました。

今、県の課題となっている広葉樹による海岸林再生技術の確立を図るため、平成28年から県と連携し山武郡横芝光町において「千葉県造園協会の森」として、長生郡白子町での経験を活かし植栽基盤の保水性を高める客土、夏の高温乾燥防止や雑草抑制等としての緑肥植物などを取り入れ、広葉樹を植樹、継続して育成管理、生育調査を継続して実施しています。そして、今年3月末に7年間続いた育成調査を終える予定です。

造園技術の伝統文化に触れていただくため①一般市民向け「ミニ門松講習会」及び②協会員制作の本格的門松を県庁、県立こども病院など4箇所へ寄贈③造園関係の高校への出前授業④造園技能検定実技試験の検定委員としての協力など様々な活動を展開してまいりました。そのためには、協会活動の柱である会員企業の経営の安定化や人材育成の確保を図る共益活動も重要です。会員企業は、ダンピング受注や造園工事の減少に苦慮し、厳しい経営環境を強いられているのが残念ながら現実です。

また、経営の安定化と造園技術技能の低下防

止・承継を図るためには、造園工事が減少する中、県の公園工事は国の建設業許可事務ガイドラインに基づいて発注されれば大部分が造園工事となるところです。建設業法での造園業（業種）は、29ある業種のうち唯一生き物である植物を扱う業種であり、緑の成長に合わせた適切な植栽管理が重要な柱となります。すなわち、緑を相手にするため造って終わりではないところが造園業の大きな魅力でもあります。

さらに、造園業は多種多様で①樹木を植栽する「植栽工事」のほかに、公園内などの様々な工事を行うものです。例えば、②修景・芝生・運動などの広場を築造する「広場工事」③公園内の遊歩道や緑道などを建設する「園路工事」④花壇や噴水及び休養施設や遊戯施設などを整備する「公園設備工事」⑤建築物の屋上や壁面などを緑化する「屋上等緑化工事」⑥樹木や芝生、草花などの植物を育成し、土壌改良や支柱の設置などを行う「緑地育成工事」があります。

担い手の育成・確保を図るためには、造園技術技能を発揮し磨くことができる造園工事現場が必要であり、造園建設予算の拡大が不可欠です。さらに造園業で取り扱う緑は街の歴史や文化を表現する大切な社会資本です。これからも社会資本整備への期待に応えていかなければならないと決意しています。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、また、当造園協会の会員の皆様にとって明るく希望溢れる良き年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和4年度 千葉県公園緑地行政の 動向について



千葉県県土整備部
都市整備局
公園緑地課長
菰田 成彦

1 はじめに

一般社団法人千葉県造園緑化協会の皆様には、日頃、本県の公園緑地・景観行政に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さらに貴協会におかれましては、災害時には「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務協定」に基づき、県立都市公園の早期復旧等に御協力いただいているとともに、景観法に基づく指定による「景観整備機構」として、本県の景観の保全・整備に御尽力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が続き、「新しい生活様式」の定着が求められている私たちの暮らしのなかで、都市や人々に潤いや安らぎ、癒しを与えてくれる公園・緑地というものが、公園利用者や社会にとってかけがえのない財産であると、改めて広く認知されたところでございます。

都市公園の整備は進んできましたが、その一方で、施設の老朽化や、都市公園の更なる活用の必要性が指摘されています。これらを背景とし、人口減少や地方公共団体の財政的制約等の社会情勢の変化を踏まえ、平成29年に都市公園法が改正され、新たな官民連携手法である公募設置管理制度が創設されました。この下で、今後は都市公園の活性化や再編、民間のノウハウや投資を積極的に引き出す民間等との連携強化、都市公園の一層柔軟な管理運用などが、今日における都市公園の新たな課題となっております。

また、都市の緑を含めた、より幅広い観点から街の景観づくりを捉え、市町村、景観づくり地域活動団体、景観整備機構（千葉県造園緑化協会など）及びNPOなど、多くの団体やその関係者との協力のもと、良好な景観づくりに向けた協働の環を広げていけるよう取り組んでおります。

以下では、県立都市公園の整備・管理や都市の緑の創出、景観形成などに関する県の取り組みを御紹介いたします。

2 県立都市公園の整備と管理について

現在、県では、長生の森公園、八千代広域公園及び市野谷の森公園の3箇所の県立都市公園の整備を行っております。

長生の森公園においては、北側エリアで整備を進めていた多目的広場が完成し、管理棟など、その周辺施設についても現在整備を進めているところです。

八千代広域公園においては、村上側がすでに供用を開始しており、残る萱田側についても、早期完成に向け、造成工事等を進めております。

市野谷の森公園の1期区域は、令和4年3月に供用開始するとともに、同年1月に認可された2期区域は、貴重な動植物のための樹林地の保全や自然とのふれあいの創設などを目指し、計画的に事業を推進してまいります。

次に、柏の葉公園では、都市公園法に基づく「公募設置管理制度」、いわゆるPark-PFIを活用し、園内の緑や水辺を生かした、民間活力による飲食施設等の設置に向け、手続きを進めております。

このほか、富津公園と蓮沼海浜公園では、海の魅力を生かした再整備に向け、公園の将来像や方向性を示した基本方針を作成するため、有識者や地元関係者等による会議を立ち上げ、検討を進めているところです。

また、現在、11公園において指定管理者制度を導入しており、指定管理者に対する年度ごとの履行状況確認の他、指定管理期間の中間年には第三者による管理運営状況の評価を行い、結果を公表しております。今後も、県民ニーズに即したサービス向上や効果的な管



青葉の森公園（陸上競技場走路改修）

理運営に努めてまいります。

このように、県立都市公園がより一層安全で魅力あふれる場として、より多くの皆様に利用していただけるよう、公園の質の向上や公園利用者の利便性の向上に鋭意取り組んでいきたいと考えております。

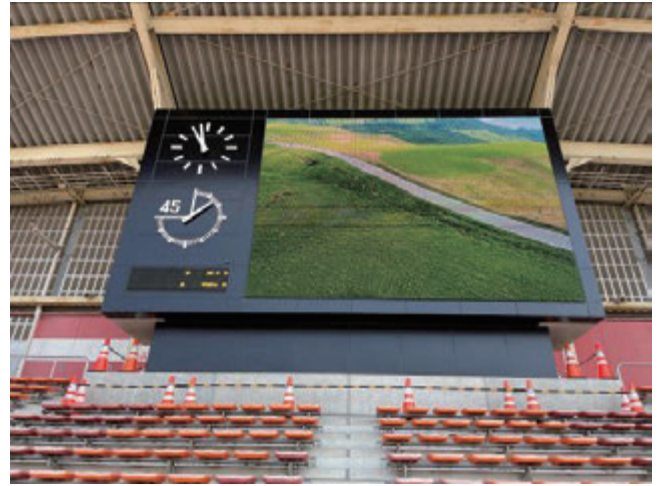
3 都市の緑の創出に向けて

都市における緑を創出していくためには、都市公園などの整備により公的空間において緑を確保していくほか、建築物の敷地内空地や屋上・壁面など、民有地も含めて緑化を推進していく必要があります。

県では地域におけるまちづくりの中心的な役割を担う市町村と連携しながら、広く県民の皆様へ緑について関心を持っていただき、都市の緑の重要性についてより一層理解を深めていただくことを目指して、緑化に関する普及啓発活動を実施しております。



緑のカーテンとチーバくん



柏の葉公園（電光掲示板改修）

その一環として例年、県庁に「緑のカーテン」（つる性植物で窓を覆うもの）を設置しております。令和4年度は、中庁舎ロビーの南側に琉球朝顔を植えました。

また、新型コロナウイルス感染症により、開催を見送っていた「千葉県立都市公園スタンプラリー」を3年ぶりに実施し、県立都市公園に親しんでいただく期間を設けました。

引き続き、県民の皆様にとって身近で取り組みやすい都市緑化として緑のカーテンの普及に努めていくと共に、さらなる普及啓発活動に係る新たな事業を模索していきたいと考えております。

また、国では地域におけるグリーンインフラの取組を支援するため、グリーンインフラの推進方策として「グリーンインフラ活用型都市構築支援事業」を令和2年度より実施しております。

これは市町村の策定した「緑の基本計画」等に整合し、公園緑地が有する多様な機能を引き出し、複数の



琉球朝顔 県庁中庁舎ロビー南側

地域課題の解決を官民連携による都市公園の整備や、民間建築物・公共施設の緑化、市民農園の整備などを複合的に行うことで、都市の緑の創出並びに緑の保全に寄与する事業となります。

本県としても、市町村が円滑に事業を実施できるよう、助言などのサポートをしております。

今後もさらに、都市公園などの整備により公的空間において緑を確保していくほか、民有地も含めた緑化の推進や都市の緑の創出のための方策を、検討しております。

4 良好な景観形成の推進について

良好な景観は、県民共有の財産であり、良好な景観形成を推進することによって、「住みよいまち」「住み続けたいまち」が実現されるほか、地域への誇りや愛着も生まれ、地域コミュニティの形成、地域の活性化や観光振興への寄与も期待できます。

千葉県では、平成20年4月に施行した「千葉県良好な景観の形成の推進に関する条例」に基づき、平成21年3月に「千葉県良好な景観の形成に関する基本方針」及び「千葉県公共事業景観形成指針」を策定し、良好な景観づくりを総合的に推進しております。



景観セミナー（令和4年2月）※Zoomによる

良好な景観形成は、住民の主体的な参画があって、初めて実現できるものです。県では、県内各地での「景観セミナー」の開催、また、条例に基づく「認定景観づくり地域活動団体」への支援など、景観づくりへの県民参加の促進について積極的に取り組んでおります。

また、景観づくりには、市町村の役割が重要であることから、市町村が景観法に基づく景観行政団体となって、地域住民との協働により、良好な景観を保全し、つくり出していけるよう、必要な支援、連携に努めております。令和4年4月1日現在では、38市町村が景観行政団体として、地域の景観づくりに取り組んでいるところです。

景観は道路や公園、建築物など公共や民間の様々な要素で構成されているため、良好な景観づくりにはそれぞれの分野の専門的な知見が必要となります。そうした意味で、景観法に基づく「景観整備機構」に指定させていただいている貴協会の皆様には、今後とも、専門知識を生かした活動を通じて、本県の良好な景観づくりに御協力をお願いするとともに、社会的要請に的確に応えながら公園緑地行政を円滑に進めていくためにも、御理解と御協力の程、よろしくごお願い申し上げます。



景観まちづくり市町村連絡会議（令和4年度6月）

2023年度創設の 資格制度 「緑地樹木剪定士」

商標登録出願中



(一社)日本造園建設業協会
事業課長

清水 謙治

国土交通省の取り組む「インフラ長寿命化計画」や美しいみどり環境の実現等の社会的要請に応えるため、公園・緑地に植栽される樹木を適切に管理でき、利用者への安全配慮ができる技術者が必要となっています。

(一社)日本造園建設業協会では、「街路樹剪定士」と「植栽基盤診断士」の資格制度を創設し、専門的な知識と技能・技術を併せ持ったプロフェッショナルの育成に努めてきました。

新たに創設する資格制度「緑地樹木剪定士」の概要について紹介します。

◆「緑地樹木剪定士」創設の背景と意義

都市公園等の緑地において、樹木の老朽化や不適切な管理により、枯枝の落下、枯損木による倒木の発生により利用者への危害や公園施設に破損が及ぶことが危惧されるなど公園や緑地の管理上の新たな課題が顕在化しており、樹木の良好な育成や安全対策の実施を通じて、公園や緑地の機能の的確な保全・確保・向上が求められています。

街路樹剪定士の持つ知識と技術に加え、公園や緑地の樹木に関する基礎的な知識を有し、樹木の剪定整姿などの適切な育成管理や日常の安全点検をすることのできる技術者を養成するため、すでに街路樹を対象に剪定・管理している「街路樹剪定士」をベースに、新たに「緑地樹木剪定士」資格制度を2023年4月に創設することとしました。

この資格制度の意義は、公園や緑地の管理者とその利用者の間に立って、公共的緑地空間に植栽された多様な樹木を対象に、緑地の利用者が快適に安全に利用できる造園空間を提供するとともに、緑地の管理者へ提案できる技術者を養成することです。

これまで公園や緑地における樹木を管理される担当

者からも、発注の際に活用できる資格制度はないかとの問い合わせもあり、それに対応すべく街路樹剪定士の資格活用が道路分野に限定されることなく、公共的緑地樹木までを対象に拡大することとなりました。

◆「緑地樹木剪定士」の対象領域と能力

対象とする領域は、個人庭などの私的空間ではなく、街路を除く誰もが利用できる公園や緑地・オープンスペースなどの公共的空間で、有資格者は街路樹剪定士の能力や知識に加えて、公共的空間の樹木を適切に管理できる知識と能力を有していることとしています。

(図1)



図1 緑地樹木剪定士 制度概念図

◆受講・受験要件と資格取得フロー

「緑地樹木剪定士研修会」の受講要件は街路樹剪定士であり、研修会修了者は「緑地樹木剪定士認定試験」を受験することができます。

試験合格後に登録認定を行うことにより資格者になることができます。(図2)

また登録認定には5年毎の更新を義務付けていますが、街路樹剪定士の更新手続きと合わせることを予定しています。

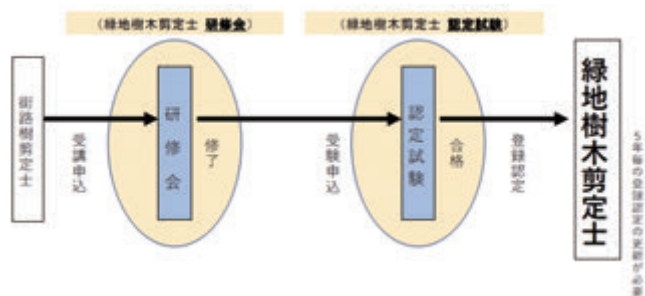


図2 資格取得フロー図

公園や緑地の樹木を管理されている多くの方に、この資格制度をご活用いただけるよう周知してまいります。

「街路樹剪定士」についてはP21をご覧ください。

●「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」好評発売中

公園や緑地の樹木の維持管理技術者育成や剪定に関わる用語定義の必要性に鑑み「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」としてとりまとめ発刊しています。

日造協ホームページから購入できますので、緑地樹木の管理に携わる方は、ぜひご活用ください。

<https://jalc.or.jp/publish/index.html>



◆研修会と試験の概要

剪定技術の実技は街路樹剪定士研修会および認定試験において修得確認ができていたため、緑地樹木剪定士は学科の研修と試験のみ実施します。

また、学科研修はWEBを活用し、240分の研修を実施します。(表1)

試験については、択一式により学科研修内容の修得確認をします。

◆今後の予定

2023年4月から制度運営が始まります。研修会・試験の開催日程や登録認定手続きについては、決まり次第ホームページ等でご案内予定です。

表1 研修カリキュラム

第1講	公園・緑地に関する基礎知識 (60分)	1. 公園・緑地樹木の管理 2. 公園・緑地に関する基礎知識
第2講	剪定技術 (80分)	3. 剪定技術に関する基礎知識 4. 剪定に関する用語の定義 5. 公園・緑地樹木の剪定及び刈込技法 6. 公園・緑地樹木剪定の品質
第3講	安全管理・樹木の安全点検 (50分)	7. 安全管理・樹木の安全点検
第4講	その他関連知識 (50分)	8. 植栽基盤整備概論 9. みどりの発生材リサイクル 10. 公園・緑地樹木の管理運営計画

門松づくり講習会と寄贈

～伝統技能の継承～



門松講習会

今日の日本では伝統工芸産業の需要の減少や後継者不足など、伝統文化の衰退が大きな問題となっています。伝統文化は私たちのルーツ、そしてアイデンティティを知る際に大きな手がかりになります。どのような歴史を経て、どのような精神文化をもち、現在の自分達の生活や人生にどのように関わってきたのかを知ることは、豊かな人生を送るのに大切なのではないでしょうか。

長い歴史の中で、先人達が代々知恵や技術を引き継いできた伝統文化を広めていくという強い思いから千葉県造園緑化協会では、多くの方々に伝統技能に触れる機会を提供したいと考え、一般県民の方々対象に「ミニ門松づくり講習会」そして会員企業対象に「門



ミニ門松づくり講習会

松づくり講習会」を毎年開催しています。会員企業が作った門松は、千葉県庁をはじめ千葉県文化会館、千葉県こども病院、千葉県千葉リハビリテーションセンターに寄贈させていただいています。

「ミニ門松づくり講習会」では15名の方々に参加していただき講習時間3時間、みなさん汗を流しながら黙々と作業に取り組んでいらっしゃいました。それぞれが満足した様子で自分で作った門松を抱えて帰っていく姿を見た際には、門松の材料集め等大変でしたが達成感を感じ「今年も講習会を開催してよかった」と改めて思うことができ、伝統文化を広めることに少しでも貢献できたことを嬉しく思います。

門松は1年の幸福をもたらしてくれる神様が家に来るための目印となる正月飾りです。門松が皆様の新しい1年に幸福をもたらしてくれることを願っております。

(川西 正人)



千葉県庁庁舎



千葉県千葉リハビリテーションセンター

千葉県魅力ある建設業指針協議会(CCIちば)

小中学校出張授業

松戸市立牧野原小学校

千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)は、11月9日(火)松戸市立牧野原小学校4年生と5年生を対象に、建設業に関する「出張授業」を体育館で開催いたしました。

今回は、当協会広報委員会副委員長の松戸克浩さん(株新松戸造園)、(株)湯浅建設の湯浅健司さんが講師として参加しました。

NPO法人企業教育研究会の市野敬介さんが司会進行を務め45分間の授業2コマ、計90分が始まりました。

授業の内容は「千葉県の建設業のお仕事」をテーマに、「新川の護岸工事について」・「生き物を扱う建設業である造園建設業について」の2部構成で行われました。

「新川の護岸工事について」は、始めに実験映像を視聴し、土手が水の動きによって下部から崩れてしまう様子を見せながら護岸工事の必要性を説明しました。その後、護岸工事でおこなわれた鋼矢板・かごマット工法について、長さ13.5mの鋼矢板に見立てた布で長

さを紹介するとともに、10cmに切った鋼矢板を持ち込み、重さを実感させるなど、質問形式で楽しく伝えていきました。

その後、松戸さんが講師として「生き物を扱う建設業である造園工事業」の説明を、会社のパンフレットを用いて行いました。「地域に密着し、人と自然が調和した持続可能なまちづくりに貢献したい」をモットーに、松戸市内の坂川親水広場・21世紀の森と広場の写真を用いて、公園・街路樹など緑のある、あらゆる空間が造園建設業の活躍の場であることを説明しました。また、「緑」を活かし街や人々の心に潤いを与える造園建設業は、近年学ぶ女性が増えており、女性が活躍する「えるほし認定」を取得するなど、造園女子を応援していると話されました。

最後に、「男女問わず自然が好き、人と接することが好きな方は一緒に造園建設業の未来へ挑戦しましょう!」と伝え、授業を終えました。

(海瀬大五郎)



松戸市立牧野原小学校 出張授業風景

いすみ市立国吉中学校

千葉県魅力ある建設事業推進協議会（CCIちば）は、11月29日（火）いすみ市立国吉中学校2年生を対象に、建設業に関する「出張授業」を体育館で開催しました。今回は当協会広報委員会副委員長の松戸克浩さんが講師として参加しました。NPO法人企業教育研究会の市野敬介さんが司会進行を務め約80分間の授業が始まりました。

授業の内容は「千葉県の建設業のお仕事」をテーマに、「中学校の建設にはどんな工事をする人が必要か」について授業が行われました。

「どんな工事をする人が必要か」については、現場監督、空調衛生管理、とび職、電気、造園の5つの工事が示され、5人の関係者がどの工事に該当するか、使っている道具と仕事をしている場所をヒントに司会進行者と生徒の間で質問形式の楽しいやりとりがなされました。最後に5人の仕事の正解発表と5人から生徒さんに向けてメッセージが寄せられ、造園業では、新松戸造園の女性社員の方から「女性の感性も生かせる仕事なので女子生徒の皆さんも造園会社に入ってほ

しい」とのコメントが流されました。

その後、松戸さんが講師として「生き物を扱う建設業である造園工事業」の説明を、会社のパンフレットを用いて行いました。「地域に密着し、人と自然が調和した持続可能な街づくりに貢献したい」をモットーに、松戸市内の21世紀の森と広場の写真を用いて、公園・街路樹など緑のある、あらゆる空間が造園建設業の活躍の場であることを説明しました。また、「緑」を活かし街や人々の心に潤いを与える造園建設業は、近年学ぶ女性が増えており、女性が活躍する「えるぼし認定」を取得するなど、造園女子を応援していると話されました。ここで、新松戸造園の女性社員の方がマイクを手に取り、入社するまでの経緯と女性として働きやすい会社であること、やりがいのある仕事などの話がありました。

最後に、「男女問わず自然が好き、人と接することが好きな方は一緒に造園建設業の未来へ挑戦しましょう！」と伝え、授業を終えました。

（三嶋 啓治）



いすみ市立国吉中学校 出張授業風景

高等学校への出前造園実習

～造園の魅力と造園実習～

千葉県立薬園台高等学校

令和4年10月26日・28日の2日間で出前造園実習として千葉県立薬園台高等学校園芸課実習棟と農場において、園芸科生徒の学習活動の一助とするため「造園の魅力と造園実習」をテーマに講義・実習を行いました。今回の開催にあたっては、毎年行われている造園業と造園課程を置く高等学校との意見交換会を機に行われたものです。

講義の内容は造園業界の現状と問題点、造園の魅力の話から始まり、目的に応じた基本的な剪定方法や樹種による剪定の時期、安全な作業及び剪定の手順を座学として行いました。また自分が将来、様々な問題に直面した時の行動や考え方の一助になればと、実体験による現場で起きた事故と作業で起きた問題に対する対応方法を話したところ、真剣に耳を傾けてくれました。

休憩後に実技としてマツの剪定作業を行いました。安全な作業を行う為にまず三脚の適正な使用方法と行ってはいけない危険な動作の実例を体現しました。次に、マツの基本的な剪定手順の説明後、二人一組になりマツの剪定を行いました。手元の作業に熱中すると枝を切り過ぎたりします。慌てずに時々手を止め、樹木から離れて全体の樹形を確認しながらそれぞれの枝の8割程度の剪定の仕上げを目標に進め、最後に全体のバランスを見て総仕上げをする事をアドバイスしました。授業の時間の都合で一人10分程度の作業となりましたが、生徒は剪定方法や仕上がりの良否の質問をしながら集中して作業をしていました。清掃・後片付けの終了後に全体の講評や質疑応答を行い、閉講となりました。

(飯塚 純)



薬園台高等学校 出前授業

千葉県造園協会の森(横芝光)

フォローアッププロジェクト活動について

「法人の森(横芝光)」協定の概要

1. 所在地：山武郡横芝光町
尾垂イ字大杉前3856-80
2. 面積：640㎡ (20m×32m)
3. 名称：千葉県造園協会の森(横芝光)
4. 協定期間(当初)：平成27年9月25日から
令和2年3月31日まで
再協定期間：令和2年4月1日から
令和5年3月31日まで

現在の状況について

(一社)千葉県造園緑化協会の継続活動として、「千葉県造園協会の森(横芝光)」があります。

横芝光町尾垂の海岸において、広葉樹による海岸保安林を目指しての植栽箇所各樹木の生育調査を年2回行っております。

この活動も今年度末をもって事業終了となります。

これまでも何度も掲載しておりますが、千葉県の海岸防災林では、主要な樹種であるクロマツがマツノサイセンチュウにより大きな被害を受けており、震災による潮害もあわせて広く疎林化が進んでいます。

現在では、かろうじて残っていた樹木もだんだん樹勢が弱り、点在して生き残っていた高木の多くが無くなってしまいました。それでも少しでも残った海岸防災林の機能を維持する為に、マツノサイセンチュウによる被害を防ぐと地上散布やラジコンによる空中散布も併せて防除を行うと同時に、早急な再生を進める為に抵抗性クロマツの植栽が進められております。

今後の九十九里海岸県有保安林の計画の中に、現在進めている抵抗性クロマツを主要とした単一樹種による防災林を構成した場合、また万が一特定の生物等による被害をまた受ける可能性があり、その場合瞬く間

に全域に拡がり、全てを失う危険性がある為、幅広い林帯においてはクロマツだけに頼った植栽による特定害虫等による機能喪失を防ぎ、尚且つこれからの生物多様性の保全も考慮して、クロマツ林の後背地に広葉樹林帯を設ける事が検討されています。

当協会として、施工し生育調査を行っているのは、横芝光町尾垂で砂丘から100m程後方に位置した場所で、海岸前線部には数年前に造成を仕直して新規に植えたクロマツ等が植栽されておりますが、現在ではまだ樹高2mにも満たない状況のその後背地となる場所です。

海岸部に広葉樹を植えるにあたり、現況土(砂土)では生育できない事は明らかですので、植栽基盤の確保と保水力の保持を目指し、土壌改良材の混入も検討しましたが、今後の計画による造成面積が膨大に広いことを踏まえ、コストを抑える方法として、壤土(赤土)を30cm厚で全面客土し、客土下の地山30cm深さまでを耕運する事で、砂壤土タイプの植栽基盤を60cm厚で確保しました。

本来ならば海岸側にはクロマツ林が形成され潮風を防いだ背面に植栽される計画ですが、現在はまだクロマツ林が潮風を防ぐほど成長していないため、代わりに防風ネットを単管パイプで設置し潮風を防ぐ方法をとっています。これは、千葉県北部林業事務所で行われた試験植栽に準じておなじ設置方法で行いました。

令和4年11月に最後の生育調査を行った際、法人の森協定の期限が年度末に来ることから、防護ネットの撤去も同時に行いました。数年前の台風等の被害により、防風ネットの大半が裂け、また日々潮風を受けているからか上部側の留具や単管パイプは錆びてポロポロになっておりました。

同様に周囲の囲いや中の区画となる竹篔も経年劣化による腐食や台風の影響などで、傾いたり破損したり



生育調査



防護ネット撤去

した箇所がかなり増えておりました。

この法人の森（横芝光）では、新たな試みとして、通常行う敷きわらの代わりに、緑肥植物の種子を播種し、マルチング材としての防草効果及び、夏場の地温上昇の抑制効果がどれくらい得られるかを期待して数種類の緑肥植物を試行しています。緑肥植物としての、耐潮性など沿岸部での施工実績があまりなく、事前に種類を絞り込むことが困難であったため、数種類を試しています。

この緑肥植物の播種は、秋にすき込み肥料とする事により、これまで、植栽時にのみ行われる施肥をこの方法により、毎年肥料分を補う事が出来ることも同時に期待していましたが、実際には、夏場の暑さや乾燥により播種植物の生育不良や、周囲からの種子飛来による予定外の植物の繁茂が増えてきており、当初予定していた管理機（耕耘機）のサイズでは、すき込みの対応が困難な区画も出てきており、期待していた緑肥効果は区画によっては難しい状況になっております。

通常の海岸保安林の維持管理は、個々の作業員が肩掛草刈機で下草を刈っていますが、どうしても誤伐により植栽した苗木も刈ってしまう事があります。また、広範囲な管理地内を人力にて草刈りを行う事はとても大変で時間と労力を多く要します。これらを改善する為に、緑肥植物をすき込み耕耘することだけで維持管理できれば、誤伐を起こす作業はしなくて済み、また、肥料分も補えて維持管理作業も手間取らずに比較的簡単で尚且つ低コストで出来るのではないかと期待しました。

しかし今回は、区画の広さや作業スペースの問題で、耕耘機の規格が小さなものしか使えず、耕耘力が小さくもう少し大きな規格の耕耘機が機能出来るスペースの確保が必要であったことを痛感しております。

植栽後6年経過した現在、客土が効果を発揮したのか、緑肥植物の効果がどれほどあったのか、防風ネットのお陰なのか等、これから調査結果を集計し関わったメンバーの中で意見を交わし、今回の活動の結果をまとめていく予定です。

今年の生育状況ですが、今年は早くに梅雨が明けたと報じられた後、また梅雨が戻ったような雨が続いていたようですが、あまりまとまった雨もなく春先から秋口に向かって大きな生長が見られませんでした。樹高が伸び悩んでいるように見受けられるのですが、その要因と考えられるのが、まだ、海岸前線部のマツは樹高が低く、周囲の防風ネットはすでに破損し、竹箆も経年劣化により多くの箇所破損しており、守られていた物が失われた事により、周囲から風を強く受けるようになったのが原因ではないかと推測されます。樹高については伸び悩んでいます、枝張りに関しては、その分広がりを見せてくれているようでした。

実際に測定した結果は、生長をしておりますが、大きく伸びる事はあまり無いようで、枝葉の数は増えても樹高や枝張りからの緑化増加率はあまり大きな生長は見られませんでした。

今回の「法人の森（横芝光）」では、生育状況を樹高と葉張りを測定し、樹高×葉張りで投影面積を求め、植栽当初に比べての増加率を集計しています。

現在の緑化増加率（平均）は、植栽当初に比べて、11月の調査段階で

常緑広葉樹（高木性）

・タブノキ	350%	（昨年の値 75%）
・マテバシイ	1,228%	（昨年の値 1,022%）
・モチノキ	11%	（昨年の値 142%）
・ヤマモモ	2,669%	（昨年の値 2,163%）

落葉広葉樹（高木性）

・オオシマザクラ	2,305%	（昨年の値 1,576%）
・エノキ	873%	（昨年の値 719%）

常緑広葉樹（中低木性）

・ウバメガシ	2,737%	（昨年の値2,291%）
・トベラ	1,349%	（昨年の値1,002%）
・シャリンバイ	1,228%	（昨年の値1,192%）

※緑化増加率＝投影面積の増減値／当初投影面積×100

区画の配置や区画毎に植栽方法や緑肥植物等が違う為、一律にどのような植え方でどの樹種が良いのかの比較はまだ出来ませんが、単純に樹種毎の平均した数値の比較ではこの様になっています。

現在の調査対象樹木で各樹種の投影面積の大きく生長したものは、下記のとおりです。

・タブノキ	樹高 900mm	葉張 400mm
・マテバシイ	樹高2,300mm	葉張1,000mm
・モチノキ	樹高1,200mm	葉張 200mm
・ヤマモモ	樹高2,000mm	葉張1,900mm
・オオシマザクラ	樹高2,200mm	葉張1,400mm
・エノキ	樹高1,300mm	葉張1,400mm
・ウバメガシ	樹高2,300mm	葉張2,500mm
・トベラ	樹高1,800mm	葉張 950mm
・シャリンバイ	樹高1,700mm	葉張1,200mm

この「法人の森」協定も今年度末をもって期間満了となります。

植栽当初から春・夏・秋と生育調査を続けてきた中で、生長を期待して植栽した樹木の意外な結果や想像通りの生長を見せてくれた樹木など大変貴重なデータを収集できた事はとても有意義なことです。

今後、集めたデータを精査し、メンバーと共にしっかりとまとめ上げ、これからの海岸保安林植栽の資料の一つとなるようにしたいと思います。

今回の法人の森（横芝光）の活動には、協会会員企業の皆様や技術委員やフォローアップメンバーをはじめ、千葉県農林水産部の関係者様、種苗会社や機械メーカーの方々など多くの方にご協力を頂き、今回の活動が出来ましたことを心より感謝致します。

皆様ありがとうございました。

（榎原 正和）

千葉県関係部局との意見交換会

県との意見交換会は、我々造園業界の声を県の関係部局（県土整備部、農林水産部、総務部、企業局）幹部職員の皆さんに直接届ける場として毎年開催しています。

本年度は、9月5日（月）に県土整備部長と同部幹部職員の皆さん及び農林水産部長と同部幹部職員の皆さんと部ごと別々に県庁内で意見交換会を行いました。

昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大により意見交換会を中止したことを踏まえ、今回は少人数（当協会からは角田会長、蓬田副会長、三嶋専務理事の3名の出席）及び短時間（30分）での開催として、感染予防対策を講じました。

まず、蓬田副会長から当協会の概要を説明し、その後、角田会長からの質問・要望により意見交換を開始し、最後に会長から部長に要望書（質問書）を手渡ししました。



角田会長から県土整備部池口部長へ



角田会長から農林水産部館野部長へ

後日、県各部からご回答をいただきました。質問・要望及び回答は以下のとおりです。

【当協会の質問・要望と県の回答】（県土整備部関係）

項目	協会からの質問・要望	県の回答
I 入札契約に関すること	①一般競争入札による業務委託において、同一業者の落札本数を制限して欲しい。	<総務部管財課 県土整備部建設・不動産業課> 一般競争入札については、業務内容等に応じ、発注所属において必要と認められる入札参加資格要件を設定することとしています。 今後とも、資格要件の設定について適切に運用されるよう、部内において周知を図るとともに、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。
	②造園技術が必要な業務委託（樹木剪定等が含まれる）の場合、国家資格である「造園技能士」の資格要件を付加して欲しい。	<総務部管財課 県土整備部建設・不動産業課> 専門的な技能を必要とする業務については、業務内容等に応じ、発注所属において、「造園技能士の資格者を有する者であること」などの必要と認められる入札参加資格要件を設定しております。 今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。
	③緑地管理の一般競争入札の金額を今の500万円以上から1,000万円以上に変更して欲しい。 背景：近年の消費税のUP、労務費や資材価格の高騰などで維持管理に要する費用が相対的に増加しており、適切な管理のために指名競争入札を要望する。	<総務部管財課> 県における契約の相手方の決定は、地方自治法の規定に基づき原則として一般競争入札によることとなっておりますが、緑地管理を含む業務委託等については、発注者・受注者双方の入札事務に係る業務量等も勘案し、予定価格500万円未満の場合は指名競争入札によることができることとしております。 指名競争入札の拡大については、法の趣旨から慎重な検討が必要であると考えております。 今後とも、適正な業務の履行の確保や入札の公平性・競争性などに配慮しつつ、入札制度の適切な運用を図ってまいります。

項目	協会からの質問・要望	県の回答
II 熱中症対策に関すること	①夏期の除草作業時などは、熱中症対策の観点から、例えば、麦わら帽子などの風通しが良いものがふさわしいと思われるので、安全性が確保された上で、ヘルメット着用の義務を緩和して欲しい。	<p><県土整備部技術管理課></p> <p>労働安全衛生規則第538条に、「事業者は、作業のため物体が飛来することにより労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、飛来防止の設備を設け、労働者に保護具を使用させる等当該危険を防止するための措置を講じなければならない。」とされています。</p> <p>労働安全衛生規則の趣旨を踏まえ、現場の条件に応じて適切に判断していただき、作業に従事する方の安全確保に努めていただくようお願いいたします。</p>
	②夏期の作業全般について、熱中症対策として休憩する回数や時間が通常より増加するので、積算の賃金を上乘せして欲しい。	<p><県土整備部技術管理課></p> <p>夏季の過酷な作業環境下では、熱中症等のリスクがあるため、作業時間が十分に確保できず、作業効率が低下するものと認識しております。</p> <p>国では、過年度実施した施工の実態調査をもとに、夏季の過酷な作業環境下における作業効率の低下状況の確認を行い、歩掛補正の必要性も含め検討を実施しています。</p> <p>今後も国の動向を注視し、歩掛補正等の改定が行われた際は速やかに対応してまいります。</p>
III 高木剪定での積算に関すること	①高木剪定においては、樹木の種類や幹回りにより作業量や発生材の量などが大きく異なっていますが、今の積算項目では規格区分が少ないため、実態との乖離が大きくなっています。つきましては、積算項目の細目化及び見積もり徴収による積算をお願いします。	<p><県土整備部技術管理課></p> <p>本県では国土交通省の積算基準を準用しており、高木剪定は市場単価にて積算することとしています。幹回りが120cm以上の場合や、繁茂状況を踏まえて定期的な剪定を行っていない場合については、見積もり徴収や特別調査を行うこととなっていることから、改めて周知してまいります。</p> <p>また、発生材の量については、実績に応じて変更契約で対応しております。</p>
IV 緑の保全とグリーンインフラに関すること	①千葉県も東京都と同様に、現状の緑を減らさない取り組みをお願いします。具体的には、開発の規制面積が1,000㎡（自治体の持つ敷地は250㎡）以上の敷地の開発や建築に緑化の指導をお願いします。	<p><環境生活部自然保護課></p> <p>県では、公害又は災害の防止、その他良好な生活環境を維持することを目的として、工場用地及びその他の用地（物流倉庫等）では1ヘクタール以上、住宅用地では10ヘクタール以上の敷地面積を有する事業所を対象として「千葉県自然環境保全条例」に基づく「緑化協定」を締結することで緑化及び緑地保全の推進を図っているところです。</p> <p>なお、事業を行う者が国または地方公共団体の場合には、原則として協定を締結しないものとしています。</p> <p>また、都市部の市では条例や要綱によってより小さな面積（例：千葉市では500平方メートル以上）から幅広く事業所を対象にしている場合や、緑地率を県の基準よりも高く定めている場合などもあります。</p> <p>以上のように、地域の状況に応じて県・市町村のそれぞれで緑化制度を設けているところであり、引き続き市町村とも連携しながら緑化の推進に努めてまいります。</p>
	②千葉県内において、グリーンインフラの実施予定及び計画はありますか。また、建築や道路等の公園緑地課以外への情報の共有はなされていますか。	<p><県土整備部県土整備政策課 公園緑地課></p> <p>県土整備部では、従来の社会資本整備や土地利用等の取組において、グリーンインフラと称してはいないものの、自然環境が持つ防災・減災、地域振興、環境といった各種機能を活用した取組を実施しています。</p> <p>今後も、豊かな自然環境が守られ活用されている千葉を目指し、グリーンインフラの考えを取り入れつつ、それぞれの分野における施策を進めてまいります。</p>

【当協会の質問・要望と県の回答】（農林水産部）

項目	協会からの質問・要望	県の回答																																																																								
<p>I 海岸防災林の進捗状況等に関する事</p>	<p>① 九十九里地区及び平砂浦地区の保安林整備の進捗状況はどのようになっていますか。 また、今年度はどのような整備を行う予定ですか。</p>	<p><農林水産部森林課> 九十九里地区の保安林整備の進捗状況ですが、津波対策としての砂丘の整備は平成27年度までに約13キロメートルを完了しています。森林整備については、ボランティア等によるものも含め、平成24年度から令和3年度までに約146ヘクタール実施し、進捗率は全体計画に対し約59パーセントとなっています。 平砂浦地区の進捗状況ですが、森林整備については、ボランティア等によるものも含め、平成24年度から令和3年度までに約30ヘクタール実施し、進捗率は約50パーセントとなっています。 今年度は、両地区とも植栽を予定しております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">森林整備面積 (ha)</th> <th>計画数量 H24～41</th> <th>R3 R2 繰越含</th> <th>R4 見込 R3 繰越含</th> <th>計画 残量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">九十九 里地域</td> <td>県営</td> <td></td> <td>10.02</td> <td>13.31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td></td> <td>1.14</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>246.9</td> <td>11.2</td> <td>13.3</td> <td>87.6</td> </tr> <tr> <td>累計 (進捗率)</td> <td></td> <td>146.0 59%</td> <td>159.3 65%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">平砂浦 地域</td> <td>県営</td> <td></td> <td>0.84</td> <td>1.20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td></td> <td>0.23</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57.9</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>26.2</td> </tr> <tr> <td>累計 (進捗率)</td> <td></td> <td>30.5 53%</td> <td>31.7 55%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>砂丘延長 (m)</th> <th>見直した計 画数量 H24～41</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4 見 込</th> <th>合計</th> <th>計画残量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九十九里 地域</td> <td>12,900.5</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>12,900.5 100%</td> <td>H27で終了</td> </tr> <tr> <td>平砂浦地 域</td> <td>1,492.0</td> <td>16.0</td> <td>94.4</td> <td></td> <td></td> <td>469.4 31%</td> <td>1,022.6</td> </tr> </tbody> </table>	森林整備面積 (ha)		計画数量 H24～41	R3 R2 繰越含	R4 見込 R3 繰越含	計画 残量	九十九 里地域	県営		10.02	13.31		ボランティア		1.14			計	246.9	11.2	13.3	87.6	累計 (進捗率)		146.0 59%	159.3 65%		平砂浦 地域	県営		0.84	1.20		ボランティア		0.23			計	57.9	1.1	1.2	26.2	累計 (進捗率)		30.5 53%	31.7 55%		砂丘延長 (m)	見直した計 画数量 H24～41	R1	R2	R3	R4 見 込	合計	計画残量	九十九里 地域	12,900.5	/	/	/	/	12,900.5 100%	H27で終了	平砂浦地 域	1,492.0	16.0	94.4			469.4 31%	1,022.6
	森林整備面積 (ha)		計画数量 H24～41	R3 R2 繰越含	R4 見込 R3 繰越含	計画 残量																																																																				
	九十九 里地域	県営		10.02	13.31																																																																					
ボランティア			1.14																																																																							
計		246.9	11.2	13.3	87.6																																																																					
累計 (進捗率)			146.0 59%	159.3 65%																																																																						
平砂浦 地域	県営		0.84	1.20																																																																						
	ボランティア		0.23																																																																							
	計	57.9	1.1	1.2	26.2																																																																					
	累計 (進捗率)		30.5 53%	31.7 55%																																																																						
砂丘延長 (m)	見直した計 画数量 H24～41	R1	R2	R3	R4 見 込	合計	計画残量																																																																			
九十九里 地域	12,900.5	/	/	/	/	12,900.5 100%	H27で終了																																																																			
平砂浦地 域	1,492.0	16.0	94.4			469.4 31%	1,022.6																																																																			
<p>② 広葉樹導入の検討状況について教えてください。 また、海岸前線部より内陸側についてはいつどのように進めていくお考えですか。 今後の見通しなどの共通認識を持つ場として海岸県有保安林再生部会等の開催をお願いします。</p>	<p><農林水産部森林課> 現在は、植物の生育環境として厳しい海岸の前線部（砂丘裏法面端から100m未満程度の範囲）や、景観として松林が求められる箇所については、クロマツの植栽を進めていますが、前線部より内陸側については、マツクイムシの被害や生物多様性を考慮して、広葉樹を導入することとしています。 このため、森林研究所と協力し、「海岸防災林の広葉樹化方針（素案）」を作成し内容について検討を行っているところです。 今後の見通しですが、九十九里地区だけでも、海岸最前線部（砂丘裏法面端から50mの範囲）の植栽必要エリアが約50ヘクタール、その後ろの50～100mの範囲においても約40ヘクタールが存在しているため、今後5年以上の期間は、前線部のクロマツの植栽を優先して進めて行くこととなります。その期間中に、その後に控えている広葉樹の植栽に備え、植栽方法を確立していきたいと考えております。 部会等の開催については未定ですが、研究成果についてはある程度まとまった段階で、情報提供していきたいと考えており、皆様からのご意見等についても随時伺わせていただければと考えております。</p>																																																																									
<p>③ 北部林業事務所防災林造成工事では、抵抗性クロマツのコンテナ苗が使用されていますが、今年度の抵抗性クロマツコンテナ苗の供給量はどの位を予定していますか。 また、令和3年度の活着率はどの位ですか。</p>	<p><農林水産部森林課> 令和4年度の抵抗性クロマツコンテナ苗の供給量は3～4万本を予定しています。令和3年度の活着率は以下のとおりです。（植栽後90日経過の活着率）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">クロマツ</th> <th colspan="3">マサキ</th> <th colspan="3">トベラ</th> </tr> <tr> <th>植栽本数</th> <th>不良本数</th> <th>活着率</th> <th>植栽本数</th> <th>不良本数</th> <th>活着率</th> <th>植栽本数</th> <th>不良本数</th> <th>活着率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>22,928</td> <td>15</td> <td>99.93</td> <td>10,985</td> <td>25</td> <td>99.77</td> <td>10,985</td> <td>39</td> <td>99.64</td> </tr> </tbody> </table>	年度	クロマツ			マサキ			トベラ			植栽本数	不良本数	活着率	植栽本数	不良本数	活着率	植栽本数	不良本数	活着率	R3	22,928	15	99.93	10,985	25	99.77	10,985	39	99.64																																												
年度	クロマツ			マサキ			トベラ																																																																			
	植栽本数	不良本数	活着率	植栽本数	不良本数	活着率	植栽本数	不良本数	活着率																																																																	
R3	22,928	15	99.93	10,985	25	99.77	10,985	39	99.64																																																																	

関東甲信造園建設業協会協議会

関東甲信造園建設業協会協議会は、造園業界の課題や造園建設業協会のあり方などを協議するため、毎年関東甲信地域9都県の協会の持ち回りにより開催されています。

本年度は10月22日（土）、（一社）群馬県造園業協会主催により、前橋市の群馬会館（県庁近く）で開催され1都8県68名が出席しました。当協会からは、角田敬一会長、蓬田浩一副会長、佐藤善一副会長、三嶋啓治専務理事の4人が出席しました。

協議会は3部構成となっており、分科会、研修会、懇親会へと順々に進んでいきました。

第1部の協議会（分科会）では、3つのテーマごとに分かれて意見交換や情報提供などを行いました。

第1分科会の「協会と行政のかかわり方」については、角田会長と三嶋専務理事が出席し、県との災害協定の対応に関すること、県への要望活動や意見交換会の開催及び県への協会PRのやり方や議会議員とのかかわり方について意見交換を行いました。

第2分科会の「人材確保」については、佐藤副会長が出席し、若手人材（高校生）のため各協会からのPR活動や高等学校等への出前講座や授業について意見交換を行いました。

第3分科会の「協会の話題」については、蓬田副会

長が出席し、協会の会員の拡大に向けた取り組みやナラ枯の被害拡大への対応について意見交換を行いました。

第2部の研修会では、群馬会館から歩いて10分のところにある「臨江閣」（国の指定重要文化財に平成30年指定されました）日本庭園について見学・研修を行いました。最初に座学として20分程度、（有）双葉造園の茂木代表取締役から臨江閣の概要として、歴史や文化、特色及び造園の過程と技術などについて説明がありました。続いて徒歩で臨江閣まで移動し、まずは日本庭園の見学をしました。ボランティアガイドの方から詳細な説明があり、庭園に対する理解が一段と深まりました。次に臨江閣の中に入り、太平洋戦争の空襲でこの地域一帯が焼け野原になった話しが印象に残りました。

第3部の懇親会では、最初に主催者の群馬県造園建設業協会の川島会長よりあいさつがあり、続いて来賓の群馬県山本知事からのあいさつがありました。

知事からは観光立県を目指し観光客の誘致に力を入れていること。また、群馬県は大きな地震や水害などもなく、災害を免れており、関東でも被害が少ない県であるとの話しがありました。

なお、次の開催は東京都になります。



協議会全体会議



群馬会館での集合記念写真

全国造園フェスティバル 「花と緑で美しい日本を！」

全国造園フェスティバルは、(一社)日本造園建設業協会が、現代都市の庭である都市公園整備の根幹となった「都市公園法」の施行50周年と連動し、環境と景観の時代である21世紀に求められるまちづくり、地域づくり、美しい国づくりに、すばらしい造園の技術が生かされていることを、広く市民の方々に知って頂くことを主旨・目的とし、2006年より「花と緑で美しい日本を！」をテーマにスタートしました。今回で17年目の開催になります。

去年は県内5ヵ所で開催されました。

それぞれの会場で趣向を凝らした企画を実施し、多くの市民と交流を図り「造園」を発信しました。

- ① 千葉県立行田公園
10月1日(土) 藤木園緑化土木(株)
- ② 千葉県立幕張海浜公園
10月9日(日) 10日(月祝) 林造園土木(株)
- ③ 千葉県立北総花の丘公園
10月16日(日) 林造園土木(株)
- ④ 船橋市天沼弁天池公園
10月15日(土) 16日(日) 船橋造園協同組合
- ⑤ 千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道
10月22日(土) (株)新松戸造園



① 千葉県立行田公園～行田フェスタ2022, 植樹体験, 花壇作成協働作業等



② 千葉県立幕張海浜公園～公園内の木の実, 枝を使っでのオリジナルクラフト作り等





③ 千葉県立北総花の丘公園～ハロウィンフェスタ、はなのおかコンサート等



④ 船橋市天沼弁天池公園～緑の相談コーナー、花苗、園芸用黒土の無料配布等



⑤ 千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道～ウェルカムゲート、ごみこしお披露目等

街路樹剪定士

～「切るも剪定、切らぬも剪定」～

美しい街づくりにとって、都市の緑の骨格を形成する街路樹は、きわめて大切な役割を持っています。一般社団法人日本造園建設業協会（日造協）では、街路樹剪定の技術者を育成するために「街路樹剪定士」認定制度を平成11年に創設し、以来23年が経過しました。令和3年度末までに全国で14,686名、うち千葉県では915名の街路樹剪定士が県内各地域で活躍しており、技術が世に示され、今では入札条件や特記仕様書等に記載する自治体が多くなってきています。

日造協千葉県支部では、昨年11月21日・22日の2日間、千葉市の幕張で学科及び実技の研修会・認定試験を実施し、48名が挑戦しました。初日は、総論のほか基本的事項・剪定・病虫害・植栽基盤整備・安全衛生管理・剪定のケーススタディについて日造協街路樹剪定士指導員の講義に耳を傾け、学んだ後に学科試験を実施しました。2日目の実技試験では、プラタナスとイチョウについて、1人1本ずつの街路樹をそれぞれの樹種に適した剪定方法で樹形を整えるとともに、安全確保等の詳細にいたるまでの実技試験を実施しました。

街路樹の剪定に必要な技術として、日造協では「効率的な切返し剪定」を推奨しています。切返し剪定で大切なのは、枝替えと枝抜きを頂部優勢にしてバランスよく仕上げることに尽きます。

実技試験では、目標樹形のプロポーシオンや頂部優勢をコントロールした剪定部位はもちろん、適正な剪

定位置、丁寧な芽の残し、不要枝と必要枝の選別等の技術面だけでなく、墜落制止用器具等の装備面、枝の降ろし方等の安全面も判定します。

「街路樹剪定士」認定制度は、街路樹の剪定に携わる造園技術者ひとりひとりの自己研鑽とともに、現場で優れた技術・技能を発揮していくことを目的としています。制度が出来る前は、本来の樹形や剪定方法を全く無視した無残な街路樹が全国各地域に存在していました。このような課題も年々減少し、現在は、街路空間に合わせた目標樹形のプロポーシオンを、行政・業界が共有するようになりつつあります。街路樹剪定のスペシャリストとして、長い年月をかけて都市の統一美として実現させる持続可能なマネジメント能力が今、街路樹剪定士には求められています。

街路樹は、生活に潤いをもたらす都市美をつくり上げる機能のほか、CO2の削減・ヒートアイランド現象の緩和・野生生物のコリドー・防災・大気汚染物質の吸収吸着等の効果があります。生き物を扱う唯一の建設業として、資格取得後も技術・技能の研鑽に努め、単に木を切るということではなく剪定により形成される街路樹の魅力を広め、地域に帰って地元の街路樹は我々が守り、育て、美しい景観を維持する意気込みで取り組んで欲しいと思います。

「効率的な切返し剪定」は、日造協が推奨する街路樹剪定の剪定技術です。

(松戸 克浩)



ケーススタディ（イチョウ）



実技認定試験（イチョウ）



実技認定試験（プラタナス）

植栽基盤診断士

～植栽基盤のスペシャリストとして、技術提案を～

植栽樹木の枯損や生育不良の原因で最も多いと推測されるものが、固い地盤や排水不良などによるものです。

一般社団法人日本造園建設業協会（日造協）では、植栽基盤に関わる総合的な知識と卓越した技術提案力を持つスペシャリストとして「植栽基盤診断士」認定制度を平成15年に創設し、以来19年が経過しました。令和3年度末までに全国で1,662名、うち千葉県では67名の植栽基盤診断士（士補は全国で2,050名、うち千葉県で76名）が県内各地域で活躍しており、現在では国土交通省や都市再生機構等で仕様書等に記載されています。

そこで、日造協千葉県支部では、植栽基盤診断に必要な5項目（物理性4項目、化学性1項目）について千葉県版の標準見積書を作成し、千葉県下の行政への要望活動のひとつとして準備しました。

物理性4項目については、

▽土壤断面（長谷川式大型検土杖の取り扱い、測定手順、記録）

▽土性・土色判定（指頭法・標準土色帖の土色判定と判定結果の記述）

▽土壤硬度（長谷川式土壤貫入計の取り扱い、測定手順、測定結果のグラフ化と評価）

▽透水性（長谷川式簡易現場透水試験器の取り扱い、測定手順、最終減水能の算出と評価）を標準とし、化学性1項目については、

▽PH・EC測定（測定準備、測定液の取り扱い、測定器の校正作業、測定の手順と読み取り、判定）を標準としています。

また、これら5項目の判定結果をもとに、技術提案をする流れになっています。



土壤断面

植栽地の改良提案をするためには、現場調査・土壤の物理性・化学性の診断・排水性の確保・植物の性質や植栽工法・経済性の比較など、施工者側の植栽基盤に関する高度な知識と技術が要求されるため、質の高い技術者を育てていくことが必要です。

「植栽基盤診断士」は、植栽基盤・土壤・植物・植栽に関する知識と経験があり、土壤調査・診断結果をもとにした処方能力を総合的に備え、植栽基盤整備“植物が良好に育つ土壤環境”を整えるスペシャリストです。

「植栽基盤診断士」に求められる能力として、下記の事項があげられます。

- ① 植栽予定地の現況調査・診断・植栽基盤整備に必要な土壤の物理性、化学性の知識
- ② 植栽されるさまざまな植物の総合的な知識
- ③ 植栽や移植に関する多様な工法、経済性の知識と技術
- ④ 植栽地盤の調査・診断技術と、植栽基盤整備の視点に立って下す処方能力
- ⑤ 発注者などに対し、施工性、経済性を考慮して、明確なデータを示しながら行う技術提案力と説明力
(松戸 克浩)



土性・土色判定



土壤硬度



透水性



pH・EC測定

伐木等業務(チェーンソー)特別教育講習会

2022年7月11日(月)～13日(水)の3日間、千葉県木材市場協同組合(東金市)の多目的ホールにおいて伐木等業務(チェーンソー)特別教育が行われました。

チェーンソーを用いて行う伐木等作業は労働災害の発生率が高く、安全対策を強化するため労働安全衛生規則の一部が改正され、2020年8月1日以降は伐木造材作業等に従事するには特別教育を修了しなければ業務に就くことができないこととなっています。

そこで日造協千葉県支部では県造協との共催により、伐木等業務(チェーンソー)特別教育を計画し26名が受講しました。講師は林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部担当で、学科教育9時間、実技教育9時間を受講しました。

雨の降る中、現場で使い慣れている方もほとんど未経験の方も伐木手順・手法をはじめ刃の研ぎ方、メンテナンス等勉強になる事が多かったと思います。

チェーンソーは通常業務でも使用する事は多いと思いますが、特に台風等災害発生時の倒木処理には我々

の出番です。受講には経験年数等はありません。誰でも受講できますので、いざと言う時のために必須の教育となっております。新人さん含めチェーンソーを扱う可能性のある方は全員是非受講をお願いいたします。

(山下 智一)



学科教育



実技教育



フルハーネス特別教育講習会

8月25日（木）、（一社）日本造園建設業協会千葉県支部と県造園緑化協会共催の「フルハーネス特別教育」が高度ポリテクセンターで初めて開催されました（実技は幕張海浜公園で実施）。

開会にあたり伊藤支部長から、「フルハーネスを用いた高所作業の安全確保の向上につながるようしっかり学んでいただき、現場で働く人々の健康と安全確保に務め、作業の効率化を図ることができるよう役立ててほしい」と挨拶がありました。

受講対象者は、フルハーネス型墜落制止用器具を用いた作業を行う方で、日造協会員会社10名、県造協会員会社18名、一般（造園会社）6名、合計34名が受講しました。

講師は、造園特有の高所作業に特化した内容の講義で定評のある、日造協技術アドバイザーの野村徹郎氏が務めました。

2022年1月2日より高所作業時のフルハーネス型墜落制止用器具着用義務化が本格移行したわけですが作業場所の上部に安定した支持物があることが前提のフルハーネスは造園の高所作業の大半を占める高木剪定などの造園の作業環境は想定されていないのが実情です。もちろん、高所作業車での作業であれば、このかぎりではありませんが高木剪定の際、樹木への登りこみは必要になります。また、日造協主催の街路樹剪定士認定試験でも試験は高木へ登りこみで行われます。今回の講習会では造園の作業環境に適したフルハーネ

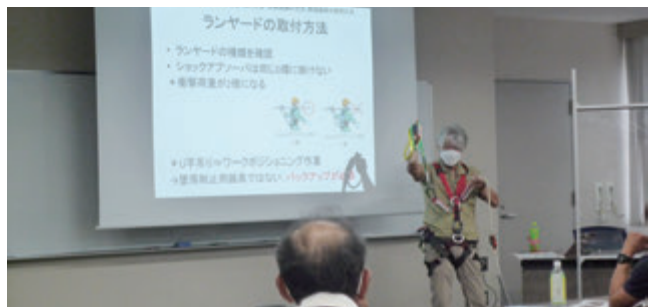
スの形を模索してきた日造協の推奨する造園用フルハーネス型墜落制止用器具を受講者全員が使用して行われました。

講習項目は、法令関係、フルハーネス作業、労働災害、墜落制止用器具に関する知識などの学科教育4.5時間と、実技教育1.5時間では、造園用フルハーネスの装着の仕方を全員が室内で学んだ後、近くの幕張海浜公園に徒歩で移動し、実際に3本の樹木を使って実技をおこないました。造園用フルハーネスの特徴はランヤード（ロープ部）とフルハーネス部の接続ポイントが腰の左右と胸の位置にあることで腰の左右と樹木の幹部でU字吊り＝ワークポジショニングがとれること、胸に接続ポイントがあることで通常の背面よりも取り外しが容易で吊られた場合でも動きやすい姿勢がとれることにあります。通常のフルハーネス講習会では単管パイプを使用して足がついた状態で行ったりしますが、今回は実際に樹木に宙吊りになったりワークポジショニングの姿勢をとってみたいと全員が新鮮な体験ができたのではないかと思います。

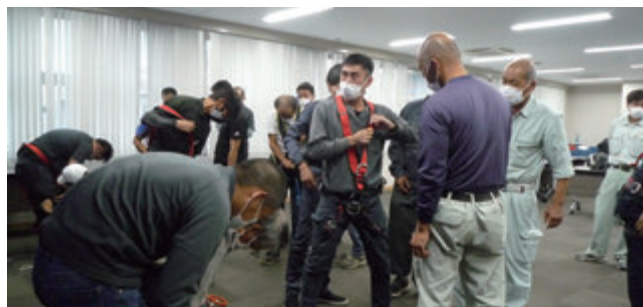
「フルハーネスは命を守るための道具です」という野村講師の強い言葉に、受講者は最後まで真剣な態度で取り組んでいました。

最後に伊藤支部長より修了証が手渡されて終了しました。

（大久保裕昭）



学科教育



実技教育



2022年度 日本造園学会全国大会報告

造園の魅力—産と学の連携の在り方—

1. 趣旨

造園の施工業界と学会が幅広く柔軟で臨機応変に対応できる連携こそが、造園界を盛り上げる機運となるはずである。そのためには、まず双方の現状やお互いに期待すること、連携の意図や目的・目標を十分に理解し、認識を新たにすることが必要である。

双方の議論を受け、施工業界と学会がそれぞれ果たすべき役割や共に取り組むべき事業などの方向性等を展望していくきっかけになればと期待し開催した。

2. 話題提供

司会の古積昇(古積造園土木株)／日造協 地域リーダーサブリーダー)の開催挨拶と趣旨説明の後、コーディネーターの荻野淳司(アゴラ造園株)／日造協 技術副委員長／造園学会 副会長・理事)により進行。

産学において活躍中の話題提供者により、現在の仕事内容や産学界での立場、それぞれ思うことや課題について紹介した。

松戸克浩(株新松戸造園／日造協 地域リーダーズ総リーダー)

施工業界は、これまでの施工管理に加え、指定管理なども行うようになり、仕事の領域が広くなり多様な能力も必要になっている。施工業界の次代を担うメンバーで構成する日造協の「地域リーダーズ」では、今後のために造園・環境関連団体の若手とも交流や連携を深めている。各社とも働き方改革として、福利厚生や働きやすい職場環境の充実を目指している。これからも業界に貢献し、巡り巡って会社に役立つ活動をしていきたい。

中峰勝美(株岩本石庭／日造協 女性活躍推進部会委員)

社内では役員であるが、設計や施工にも携わっている。業界では、日造協の女性活躍推進部会に所属しており、高校生や大学生向けに業界紹介の出前講座を開催している。

学生のイメージは「造園職＝植木職」が多く、造園や緑に関する学科も少なくなっている。しかし、業界のアンケート結果によると、他の業界に比べ造園では、採用効果が高く定着率も90%と高い。女性のリモートワークも増え、子育てや介護、家事の負担も軽減されている。建設や土木業界の女性の会とも交流があり、女性ならではの業務や男女ともに働きやすい職場環境について情報交換をしている。

柳井重人(千葉大学大学院園芸学研究院)

学部の卒業生の進路は、修士への進学や公務員が多く、最近ではディベロッパーも人気である。施工界に進む学生は少なく、施工界に進んだ学生も、辞めて公務

員等に転職することもある。最近では、女子学生の割合が多くなり現在は5割程度、今だ3Kのイメージが強い傾向にある。ゼネコンのCMイメージのほうが格好いいとか、職人って格好いい、モノ作りが好きという学生もいる。

金澤弓子(東京農業大学)

大学3年生から就職を考える学生が多い。1年生の実習で施工の体験をしている。造園への入学理由は、まちづくりや景観、身近な環境について関心があったから、という学生が多い。造園会社の後継者も少なくない。最近の傾向として、就職相談を教員等にはせず自ら進んで就職活動している。また、オンラインによるインターンシップも行われている。

3. 意見交換

施工業界においては、以前に比べ、長時間労働も改善し、完全週休二日の会社も増えてきた。また危険な作業も少なくなっている。今後は3Kのイメージを払拭することはもちろんのこと、仕事のやりがいを発信し「みどりに関わる仕事＝造園の仕事」の考えを定着させる必要がある。

一方、大学では、学生に造園の仕事の魅力を少しでも伝えていただきたい。

これまで、施工に関する調査研究や委員会に、大学の先生にも参画していただき共に成長してきた。しかし、現在は、施工に関する調査研究をされている先生の顔が見えない。

造園学会でも、技術報告集や論文等をサイトで閲覧できるようにするなど、産官学の連携を模索している。最近では、研究室の体制も1名のみであったり、若手から中堅の先生の中にも任期付きが多く研究に追われているため、コミュニケーションを取る時間や機会がないのが課題である。

施工業界としても、学会の活動に協力し、共同研究や投資をすることが必要であり、学会としても施工現場に役立つ研究を取り上げることを考える必要がある。そのためには、日頃よりお互いフランクに話し合いができるような良い関係性を築いておく必要がある。

会場からは、造園の社会的な価値が下がってきているので、産官学が連携してどうするか検討していかなければならない。造園の職人の働く姿は、格好良く庭を訪れるゲストにも魅せるものである。大学では学生に伝えていただきたい。施工会社が各社の魅力を発信することも大事であり、会社の得意分野を強調することで入職者も集まりやすいのでは、との意見もいただいた。

企画責任者：松戸 克浩

((一社)日本造園建設業協会 地域リーダーズ総リーダー)

第38回 全国都市緑化くまもとフェア

くまもと花とみどりの博覧会 ～ THE GREEN VISION 未来への伝言～

2022年3月19日～5月22日まで開催されました



4月25日～26日にかけて、熊本県で行われている「第38回全国都市緑化くまもとフェア くまもと花とみどりの博覧会」に広報委員4名で視察に行っていました。

熊本フェアは、熊本城公園及び広場一帯で行われている「街なかエリア」、水前寺江津湖公園一帯で行われている「水辺エリア」、立田山で行われている「まち山エリア」の3つのメイン会場で構成されています。

フェアは熊本市全域で行われており、2日間ですべてを視察することは不可能なため、初日は「街なかエリア」2日目は「水辺エリア」を中心に視察することにしました。

1日目は気温が25度を超える汗ばむ陽気の中、熊本城ホール～辛島公園～サンロード新市街～下道アーケード～熊本城までの「街なかエリア」を、徒歩で視察しました。サンロード新市街入口では、写真スポットである巨大な立体花壇のくまモンが出迎えてくれました。その後、アーケード内に設置された、全国の造園

技術の匠による華麗な技を駆使した作品を見て回り、配置・見せ方・技術等に感心させられるばかりでした。

その後、歩き疲れた私達は、昭和の雰囲気醸し出しているお洒落な喫茶店に入り、十分に休憩して英気を養った後、熊本城を訪れました。報道では復興がかなり進んでいるという認識でしたが、傷跡はいたるところに見受けられ、震災の大きさを感しました。また、熊本城周辺に植えられていた樹木の大きさには目を見張りました。特に幹周が5メートルはあろうかというクスノキの巨大さに、歴史を感じさせられました。

2日目は、朝から荒天の予報でしたが、午前中は天気を持つとのことでしたので急いで「水辺エリア」内の熊本市動植物園に向かいました。早い時間と言うこともあり、貸し切り状態で鑑賞することができました。そこには高低差を活かした奥行きのある広大な大花壇があり、視察時には“火の国くまもと”を表す赤系の花が植えられていました。フェア後半には“くまもとの美しい水”を思わせる青系の花へとイメージチェン



アーケード内展示作品



熊本城巨木クスノキ

ジするとのことでした。企業・団体等の出展庭園や、高校生が出展した庭園・全国デザインコンクール受賞庭園をじっくりと視察し、動物と植物の混合展示で動物が生息する森を再現した大温室を見て回り、熊本市動植物園を後にしました。

その後、シャトルバスで水辺エリア内にある国の名勝・史跡に指定されている肥後細川家ゆかりの日本庭園の水前寺成趣園に向かいました。参道の竹灯籠のオブジェを視察している最中に雨が降り出したため、庭園内に入りませんでしたが、また晴天時に訪れ庭園内を散策し、夜間に幻想的であろう参道の竹あかりを体験したいと思いました。

雨は31mm/hと猛烈であったため、急いで路面電車に乗り、バスターミナルに向かいました。熊本で春の嵐を味わい、九州の雨のすごさを実感しながら帰路につきました。

市内全域が、熊本の緑や水、歴史・文化を象徴する

メイン会場となっており、フェアを見て回ることで熊本の魅力を堪能できる素晴らしいフェアだと思いました。

(海瀬大五郎)



水前寺成趣園竹灯籠



動植物園



動植物園大花壇



立体花壇くまモン



高校生出展作品



マルメロ ばら科 *Cydonia oblonga* Mill. (*C. vulgaris* Pers.)

樹木医 富塚 武邦

マルメロはイラン・トルコ・パキスタンなどの中央アジア原産、落葉小高木の果樹で、メソポタミア文明発祥の地では紀元前から栽培された歴史を持つ。日本へは寛永11年（1634年）、中国経由で長崎に渡来との記述が残されている。学名はキドニア・オブロンガ。属名は地中海クレタ島の古代都市キドンから、種小名は長楕円形の意。もうひとつの学名キドニア・ブルガリスの種小名は通常の、普通の意。語源はオランダ語マルメル（果物の砂糖漬けの意）とポルトガル語のマルメロによる。

葉は互生、長楕円形～卵形、葉の裏面は灰白色の綿毛で覆われる。長さは5～10cm、全縁、鋭尖頭。花はその年に伸びた短枝の先に芳香のある直径4～5cmの白～薄紅色の花を咲かせる。花弁は5枚。自家稔性が強いので受粉樹を必要としない。果実は10月、燈黄色に成熟、径7～10cmの楕円形、5室あり多数の種子がある。生食には向かず、専らシロップ、ジャム、果樹酒等に加工される。果実の生産量は1990年代をピークに約十分の一に急減し、2018年現在、全国の生産量は111.5トン、うち長野県が97トンで87%を占める。世界では2019年現在、トルコが18万トン、27%で1位、2位は12万5千トン、19%の中国、日本は33位となっている。因みに類縁種のカリンの生産量も激減し、2018年現在、51.5トンで千葉、山形両県が1位を分け合い25%ずつ、各13トンを生産する。千葉県の産地は匝瑳市と旭市である。

カリンとの相違点としてマルメロは樹皮が剥離せず、葉は全縁で花は大きく4～5月咲き、微紅。果実は全体が軟毛で覆われる。また全体が小ぶりで刺も無い。品種は小振りで芳香の強い「在来種」のほかに、大きめで果肉の水分の多い「スミルナ」、両者の交配種で特徴を併せ持つ「かおり」がある。いずれも栽培は容易で、花木として、果樹として楽しめる樹木である。



マルメロ 花



マルメロ 果実

カシノナガキクイムシとナラ枯れ

松原 功 (NPO法人 樹の生命を守る会)

近年、千葉県でもマテバシイやコナラなどが集団で枯死するいわゆる「ナラ枯れ」被害が多発しています。「ナラ枯れ」の病原体は、在来のナラ菌(学名 ラファエレア・クエルシポーラ)というカビの一種で、この菌が材内で繁殖して通導組織を破壊してしまうために水分が上がらず、枯損が発生します。このナラ菌を伝播するのがカシノナガキクイムシです。予防法は、ナラ菌の媒介者カシノナガキクイムシの成虫発生前(5月)までに、樹幹に被覆材を噴霧するか粘着シートやビニールシートで被覆するか、また、冬期にトリホリン剤を樹幹注入します。駆除法は秋期～冬期に枯死木を伐採、玉切りをおこなってビニールで被覆しNCS剤で7～10日間燻蒸します。ナラ枯れの防除は、一個人

での対応では大変難しく、関係市町村や周辺の方々とよく相談し連携して対応することが重要です。



カシノナガキクイムシ成虫 (体長4.5～5.2mm)



特徴：フラスの大量排出
夏～秋にかけて盛んにフラス(木くず+虫糞)を排出する。



予防法の一つビニール被覆作業

委員会報告

総務委員会

委員長 浮ヶ谷 容徳

会員の皆様にはコロナ禍でありながら多大なご協力をいただき、次の諸活動を行うことができました。

○災害応急対策の推進

- ・災害時に迅速な災害活動をするためには日頃の災害訓練が必要です。令和4年度千葉県県土整備部震災訓練（9月9日）に参加、当協会の災害対策連絡網（会員141社網羅）による災害情報伝達訓練、また施工業者による県立公園のパトロール等を行いました。
- ・9月29日、当協会の県土整備部震災訓練の実施状況、協会独自の災害情報伝達訓練実施状況の報告と問題点を検討するため、「災害応急対応に係わる本部員・施工業者・班長合同会議」を開催しました。

○実務者セミナーの開催

実務者を対象としたセミナーを9月29日に開催しています。今回は、株式会社ウェザーマップ久保井朝美さんを講師としてお迎えし、「天気予報の見方と気象災害への備え（現場でできる防災・減災）」と題して実施しました。

○会員の親睦

- ・会員親睦ゴルフコンペを12月2日（金曜日）に山武グリーンカントリー倶楽部にて開催しました。
- ・会員親睦忘年会を12月7日（水曜日）に東天紅で執り行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症第8波の懸念もあり、中止としました。

事業委員会

委員長 蓬田 浩一

令和4年度の事業委員会の活動について、ご報告いたします。

○県との意見交換会について

この事業は、我々造園業界の状況や要望を県の関係部局幹部の皆様へ直接届ける場として毎年開催しています。

しかしながら、今年度も昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大のため、県各部局との合同開催ではなく、少人数、短時間での開催の方針で、去る9月5日に、角田会長、蓬田副会長、三嶋専務理事の3名で千葉県庁の県土整備部長室と農林水産部長室を訪れ各30分程度、当協会の事業概要の説明と造園業界の抱える課題と問題点について活発な意見交換をさせていただき、最後に、会員の皆様からいただきました要望・質問事項をまとめた要望書を手渡しました。

今後も引き続き様々な機会をとらえて、造園業界の発展のために県当局に質問意見を述べて行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

その回答は、協会だより（11月号）を通じてお知らせしました。

○ 造園課程を置く高等学校との情報交換会

この事業は、将来の業界を担う人材育成を目的として、学校関係者、県当局を交えて毎年行っている情報交換会です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止しましたが、今年度は、去る8月29日千葉市のオークラ千葉ホテルで、協会役員等11名と県学校関係者（教諭）4名と県庁商工労働部雇用労働課及び県土整備部建設・不動産課の担当職員計17名が出席し参加しました。

はじめに協会側から「後継者育成に係る協会の主な事業」の内容について説明を行い、その後学校側から出前授業、校外授業等についての要望、造園会社への就職状況、本年度の求人情報の提供などが出され、終わりに県より、今年から知事の意向により建設業の担い手の育成（若手の就職）を応援するプロジェクトチーム結成の説明等があり、これらの後継者育成に関し幅広い情報交換を行いました。

この他、景観整備機構の指定団体として景観まちづくり市町村連絡会議等の景観形成活動への協力、生徒達が体験するものづくりの魅力発信講座などに取り組んでいる青年部内への助成等様々な活動を行っています。

今後とも緑化に関する普及啓発に努めてまいります。

会員皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

技術委員会

委員長 榊原 正和

○法人の森整備事業（横芝光町）

法人の森整備事業では、令和4年度末の協定期間満了をもって終了します「千葉県造園協会の森（横芝光）」山武郡横芝光町尾垂の海岸保安林の土地において、広葉樹の中で、実際にどのような樹種が適応できるものなのか、また、分類上耐潮性が強いとされる樹種を幾つか選び植栽をしましたが、はたして本当に活着するものなのか？

現地の植栽環境で適応できる樹種は何なのか、植栽後、毎年定期的に生育調査や緑肥植物の播種・耕耘等を行っており、現在では植栽当初に比べ、かなり大きく育った樹種や風等により生長を阻害された樹種など生長に差が出てきました。

今年度も年2回の生育調査等を行っております。コロナ禍ではありますが、参加人数を抑え、距離をとりながら、生育調査や播種作業など、技術委員及びフォローアップのメンバー達に参加し作業して頂いております。

今回までのデータを基に今後の海岸保安林植栽に活かせる資料となるようしっかりとまとめていきます。

○門松づくり講習会

協会員の皆様に、伝統技術の継承として始まった本格的な門松づくり講習会。

今までに数多くの協会員の皆様が参加していただき、それぞれの会社でも年末に作成しているとの声も聞くようになりました。

今年度も、協会員の皆様が講習を通じて作り上げられた門松は、県庁及び千葉県こども病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター。それと会場をお借りしております千葉県文化会館を含め、4対の門松を寄贈させて頂きました。

それぞれの場所において、寄贈設置の際には温かい喜びの声と感謝の言葉を頂いております。

コロナウイルスの感染拡大などで講習などの人の集まりに影響がありますが、少しでも多くの方々が伝統文化へ触れる機会を増やしていけるよう、協会員の皆様の更なるご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会

委員長 湯浅 浩一

広報委員会では、ちばの緑の発行を初め協会広報、パンフレット作成及びホームページによる広報活動をしています。また、広報活動の一環として小・中学校へ出張授業を委員会より講師を派遣し、造園業に関心を持っていただき、造園の仕事を理解して頂くようにしています。毎年恒例になって居ます松戸委員にお願いし、松戸市立牧野原小学校4、5年生、いすみ市立国吉中学校2年生達に造園の仕事の役割について説明し熱心に聞き入っていました。今回小学生から質問、謝辞まで頂きました。ちばの緑は、協会事業の取り組みや、参考になることが掲載されています。会員の皆様に、事業につながればと思い、そして協会活動や、広報活動でわかりやすく紹介できるよう努めてまいります。お気づきの点や有益な情報などがございましたらどうぞ、お知らせ下さい。

造園技能検定推進委員会

委員長 鈴木 康史

今年度は、新型コロナウイルス感染対策を十分に行い、実施いたしました。

実技試験は令和4年8月6日(土)・7日(日)の2日間にわたり千葉県立我孫子高等技術専門校で実施しました。1級24名、2級85名の方が受験されました。また、判断等試験(要素)は8月26日(金)に、学科試験は8月21日(日)にちば仕事プラザで実施しました。

真夏の蒸し暑い中で実施されるため受験者には大変な実技試験となってしまいます。試験には制限時間等があり、正確、時間、体力、気力が一つでも欠けると合格出来ない試験です。令和4年度の合格者は1級6名、2級36名が合格されました。

技能検定推進委員会では100%の合格者を目指し対策講習会も実施しています。

作製講習会では、技術を持つ講師が受講生に基本から親切丁寧に講習をし、パワーポイントを用いて作成順序や注意点も詳しく教え、実際に題材で作成して指導を行っています。また、判断等講習会(要素)では、実際に樹木の枝葉を見て試験さながらの講習をしています。

学科講習会では、過去問49年間分を厳選し講習しています。

講師の方々には大変ご尽力をいただき、千葉県の造園に対する知識、技術向上を目指していただきたいと思います。

今後、造園技能士を受験される方は、ぜひとも講習会の受講をお勧め致します。

お知らせコーナー

造園業の発展への多大な功績等により、表彰された方々を紹介します。(敬称略)

造園業の発展へ多大な功績等により、
表彰された方々を紹介します。

瑞宝単光章(R4. 4. 29)

多年にわたり、造園技能検定試験の発展ならびに後継者育成に貢献したことにより内閣総理大臣から表彰された。



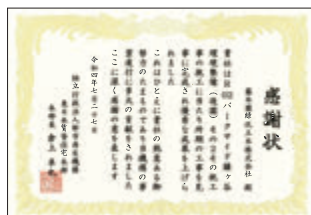
千葉砂防植産株
古館 公二

令和4年度 優良工事表彰を
受けられた会社を紹介します

●都市再生機構優秀工事施工者表彰



(株)東松園



藤木園緑化土木(株)

令和4年度
(一社)千葉県造園緑化協会会長表彰(R4. 5. 24)

●造園建設功労賞



(株)西船グリーンサービス
飯塚 純



(株)徳受園
横山 洋人



京葉園芸(株)
吉田 等



(一社) 千葉県造園緑化協会
前専務理事
森田 春雄

●勤続精励功労賞



千葉砂防植産(株)
手戸 博信



新都市緑化(株)
安藤 竜謙



(株)マスヤ
丸山 大祐

●技術・技能功労賞



(株)三協グリーン
小川 剛史



千葉造園土木(株)
金子 勝彦

令和4年度
(一社)日本造園建設業協会会長表彰(R4. 6. 21)

●業績表彰



(株)共楽園緑化土木
榊原 正和

千葉県立我孫子高等技術専門校 令和5年度訓練生募集のお知らせ

造園の技能・知識を基礎から学んで、造園の仕事に就いてみませんか！

●普通課程園芸サービス系造園科（追加募集）

訓練科名	訓練課程	訓練期間	定員	募集期間等
造園科	普通課程	1年間 (4月入校)	20名	・追加募集の期間、選考日について 千葉県立我孫子高等技術専門校にお問い合わせください。

[応募資格] 高校を卒業した方、若しくはこれらと同等以上の学力を有すると認められた方

[授業料] 年額118,800円（別途 教科書、作業服等の費用が必要です。）

[選考方法] 学科（国語、数学）・適性検査（ペーパー、器具）・面接

[訓練内容]

- (1) 学科・・・庭園概論(歴史・様式)、栽培法、病理・農薬、材料、関係法令、設計および製図(CAD)
- (2) 実技・・・造園実習(垣根・石組み)、栽培実習(薬剤散布・除草)、農業機械使用法(建設機械)
 - ・庭園管理実習(樹木の刈り込み、剪定・整姿)、施肥実習(土および肥料準備)
 - ・根掘りおよび植栽実習(根巻・支柱)

●短期課程造園科募集（6ヵ月）

区分	4月入校	7月入校	10月入校	1月入校
募集期間	R5. 1. 24～R5. 2. 17	R5. 4. 18～R5. 5. 12	R5. 7. 18～R5. 8. 10	R5. 10. 17～R5. 11. 10
選考日	R5. 3. 2 (木)	R5. 5. 25 (木)	R5. 8. 24 (木)	R5. 11. 24 (金)
合格発表	R5. 3. 9 (木)	R5. 6. 1 (木)	R5. 8. 31 (木)	R5. 12. 1 (金)
入校日	R5. 4. 6 (木)	R5. 7. 3 (月)	R5. 10. 2 (月)	R6. 1. 9 (火)
定員	11名	11名	11名	11名

[応募資格] 転職・再就職を希望される方、学歴は問いません。

[授業料] 無料（別途 作業服等の費用が必要です。）

[選考方法] 適性検査（ペーパー、器具）・面接

[訓練内容] 訓練期間6ヶ月で、造園工事に必要な実技を中心に、竹垣類の製作・樹木管理・石組み・ブロック積み・測量・CAD等を学びます。

◎募集内容等の詳細については、
千葉県立我孫子高等技術専門校に
お問い合わせください。
見学も随時受け付けております。

〒270-1163 我孫子市久寺家684-1
電話 04-7184-6411
FAX 04-7185-0265
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kg-abiko/>



技能五輪造園職種・全国大会出場（東京）

会 員 名 簿

正会員

(五十音順) 令和4年12月現在 138社

社 名	〒	所 在 地	電 話	F A X	H Pアドレス	Eメール
(株) I . G . O .	270-1367	印西市浦部1028-2	0476(42)3899	0476(42)6275	http://www.linkclub.or.jp/~sanyo/	k2sanyo@zd.wakwak.com
(株)アサヒグリーン	264-0037	千葉市若葉区源町106-2	043(284)4433	043(252)5707	http://www.asahi-green.co.jp	mail@asahi-green.co.jp
(株)青野造園土木	270-1432	白井市富士61-4	047(404)9477	047(443)4849		aonozouendoboku@able.ocn.ne.jp
(株)青山造園土木	272-0133	市川市行徳駅前4-3-13	047(397)9179	047(397)7800		aoyama@ec4.technowave.ne.jp
(株)赤 門	285-0002	佐倉市萩山新田545	043(485)1030	043(485)1170	http://www.kk-akamon.co.jp/	sakura@kk-akamon.co.jp
朝生林業(株)	290-0524	市原市平蔵322	0436(89)2014	0436(89)2800		t.asou@chive.ocn.ne.jp
(株)荒井造園土木	272-0802	市川市柏井町2-742	047(337)6222	047(337)2431		araizouen@h6.dion.ne.jp
(株)飯塚造園	287-0217	成田市桜田296	0476(73)3691	0476(73)6641		iizukakk4128@yahoo.co.jp
(株)飯塚緑化土木	278-0041	野田市蕃昌69	04(7129)2171	04(7129)5001		koujibu@iizuka-ryokukadoboku.com
飯高造園土木(株)	285-0852	佐倉市青菅265	043(487)3232	043(487)3233		info@iidaka-zd.co.jp
(株)飯沼ガーデン建設	270-2254	松戸市河原塚114-3	047(391)6689	047(392)5819		iinumagarden@shore.ocn.ne.jp
(株)石 川 園	270-2251	松戸市金ヶ作251	047(385)7745	047(311)8585	http://ishikawa-en.jp	info@ishikawa-en.jp
(株)井上造園	299-0252	袖ヶ浦市勝507	0438(63)0859	0438(63)0839		02tachibana@inouezouen.co.jp
(株)植 草 園	263-0051	千葉市稲毛区園生町173-1	043(253)3693	043(255)3462	http://www.uekusaen.co.jp	uekusaen@kind.ocn.ne.jp
(株)植 泰 造 園	272-0834	市川市国分2-16-10	047(372)0358	047(372)0357		suzuki@uetai.co.jp
植忠造園土木(株)	260-0006	千葉市中央区道場北2-18-9	043(224)7611	043(224)7613		info@uechu.co.jp
(株)植 義	284-0012	四街道市物井1802-25	043(423)1814	043(424)0899		info@e-ueyoshi.co.jp
(有)植吉造園	276-0015	八千代市米本2428	047(488)1529	047(488)3655		ueyoshizouen@nifty.com
(株)ウキガヤ	270-2232	松戸市和名ヶ谷1253	047(391)5161	047(391)5163		ukigaya_k@ukigaya.co.jp
(株)浦安造園	279-0041	浦安市堀江5-16-22	047(351)4611	047(352)3094		info@urayasuzouen.com
(株)江波戸造園土木	276-0046	八千代市大和田新田917-20	047(450)4014	047(450)2170		ebato@ebato.com
(株)大作園芸	275-0017	習志野市藤崎6-19-15	047(472)0738	047(471)5733	http://www.oosaku.co.jp	info@oosaku.co.jp
(有)岡吉造園	277-0054	柏市南増尾5-18-19	04(7173)0058	04(7173)0054		Yukiookada@okayoshizouen.co.jp
(株)加瀬造園	289-2505	旭市鎌数9570-8	0479(63)6750	0479(62)1363		kase-zouen@k9.dion.ne.jp
勝田造園(株)	285-0845	佐倉市西志津2-22-19	043(487)1430	043(487)1022		katuta-zouen@catv296.ne.jp
(株)加藤園緑化建設	277-0872	柏市十余二287-18	04(7132)2281	04(7133)7479	http://www.kashiwa-cci.or.jp/home/10131/index.htm	ka-katouen@mti.biglobe.ne.jp
(株)加藤緑花土木	267-0065	千葉市緑区大椎町1251-321	043(294)4655	043(294)4658		kato4655@sirius.ocn.ne.jp
鎌ヶ谷造園土木(株)	273-0118	鎌ヶ谷市中沢379	047(445)3136	047(445)2200	http://www.kamagaya.com/zouen	zouen@kamagaya.com
神鳥造園(株)	262-0012	千葉市花見川区千種町357-14	043(259)0843	043(258)8728		info@kamitoro.co.jp
川西造園土木(株)	299-0118	市原市椎津1299-2	0436(61)0310	0436(61)0321		kawanisi@tk9.so-net.ne.jp
(株)川村造園企画	270-1176	我孫子市柴崎台3-9-15	04(7184)5311	04(7183)3315		kawamurazouen@eos.ocn.ne.jp
(有)共栄緑化	273-0015	船橋市日の出2-2-16	047(431)5368	047(433)9835		kyoeiryokka@nifty.com
(株)共楽園緑化土木	283-0041	東金市広瀬83	0475(58)5355	0475(58)5357	http://kyourakuen-chiba.com	kyouraku@aioros.ocn.ne.jp
(有)協和緑地	277-0812	柏市花野井1035-9	04(7133)6772	04(7131)7167		kyowa-0518@peach.ocn.ne.jp
グリーンテック(株)	277-0861	柏市高田806	04(7148)4187	04(7148)4171	http://www.green-tech.co.jp	info@green-tech.co.jp
京成バラ園芸(株)	276-0046	八千代市大和田新田755	047(459)0331	047(459)4779	http://www.keiseirose.co.jp/	tender@keiseirose.co.jp
(株)京 葉 園	263-0002	千葉市稲毛区山王町267	043(422)2320	043(422)8875	http://www.keiyoen.com	green@keiyoen.com
京葉園芸(株)	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-8-17	043(254)3231	043(287)9803		info@keiyo-engei.co.jp
京葉ガーデン(株)	279-0041	浦安市堀江2-18-10	047(354)8854	047(354)8874		mail@keiyo-garden.co.jp
京葉緑化工事(株)	290-0045	市原市喜多948-100	0436(74)0037	0436(37)2991	http://www.keioryokka.co.jp	flower@keiouryokuka.co.jp
香樹園緑化建設(株)	283-0048	東金市幸田294	0475(52)1626	0475(52)1564		koujyuen@siren.ocn.ne.jp
(株)光風ガーデン	270-1137	我孫子市岡発戸599-2	04(7182)9876	04(7182)2328		kofu-gdn@violin.ocn.ne.jp

社名	〒	所在地	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
光陽(株)	285-0858	佐倉市ユーカが丘1 スカイテック・モール3F	043(462)9751	043(462)9704		soumubu@koyo-yukari.co.jp
(有)小林大正園	292-0036	木更津市菅生134	0438(98)0903	0438(97)0220	http://www.taishouen.co.jp/	info@taishouen.co.jp
(株)齊藤造園土木	273-0121	鎌ヶ谷市初富172-7	047(444)3510	047(444)2479		info@saito-z.com
(株)齊藤緑地建設	270-2232	松戸市和名ヶ谷1429	047(391)3045	047(392)0815		saito137@dc5.so-net.ne.jp
(株)坂月造園土木	264-0002	千葉市若葉区千城台東1-4-6	043(237)1263	043(237)1289		info@sakaduki.co.jp
(株)佐久間園緑化	289-2132	匝瑳市高1740	0479(72)1888	0479(72)2002		sakumaen@cf7.so-net.ne.jp
(株)三協グリーン	260-0001	千葉市中央区郡2-13-1 パークベニュー102	043(233)0707	043(233)0708		LEK06764@nifty.ne.jp
(株)三協緑化	266-0033	千葉市緑区おゆみ野南2-16-6	043(228)2410	043(228)3588		info@123kyo.co.jp
山晃興業(株)	270-1332	印西市別所599	0476(42)3270	0476(42)8131	http://www.sankou-ib.co.jp	info@sankou-ib.co.jp
(株)三樹園緑化	265-0077	千葉市若葉区御成台3-1168-13	043(236)3952	043(236)3622	http://www.sanjuenryokuka.com/	info@sanjuenryokuka.com
(株)サンライズグリーン	272-0115	市川市富浜3-11-6	047(395)6955	047(395)3336	https://sunrisegreen.jp/	info@sunrisegreen.jp
(株)志津ガーデン	285-0854	佐倉市上座1178-27	043(489)5824	043(489)4825		shizu-g@catv296.ne.jp
(有)穴倉造園土木	264-0032	千葉市若葉区みつわ台3-16-4-101	043(252)2068	043(252)2082		sisikura@crux.ocn.ne.jp
(株)篠塚造園土木	270-0135	流山市野々下1丁目399	04(7158)3854	04(7158)3744		sinoduka@oregano.ocn.ne.jp
(株)島村造園緑化	270-2203	松戸市六高台5-56	047(387)6791	047(387)9494		shimamura-zouen@nifty.com
(株)松月園	270-1327	印西市大森333-2	0476(42)3318	0476(42)8475		shougetu@remus.dti.ne.jp
(有)東海林造園	284-0001	四街道市大日1182-2	043(422)3013	043(423)0846		shoji-zoen@m9.dion.ne.jp
(有)白富士園	270-1432	白井市富士21	047(444)1201	047(445)0045		iwasaki-ij@mti.biglobe.ne.jp
進光園緑化(株)	270-1431	白井市根713-8	047(491)0450	047(491)4906		ryokuka@sinkoen.com
新都市緑化(株)	270-0021	松戸市小金原9-15-10	047(341)3811	047(343)8343	http://www.d2.dion.ne.jp/~unaoshi	unaoshi@d2.dion.ne.jp
新日本植産(株)	290-0032	市原市廿五里1071-5	0436(21)3869	0436(22)5633	http://www.ichihara.or.jp/shinnihon_syokusan/	info@snsy.co.jp
(株)新松戸造園	270-2224	松戸市大橋809	047(391)2828	047(392)0213	https://shinmatsudo-zouen.com	info@shinmatsudo-zouen.com
(株)仁風	267-0052	千葉市緑区下大和田町68	043(497)4706	043(497)4716		jinpuu@fancy.ocn.ne.jp
(株)砂川園芸	277-0805	柏市大青田1270-1	04(7131)2587	04(7132)2850		sunakawa@xpost.plala.or.jp
(株)生光園	299-0245	袖ヶ浦市蔵波台6-5-10	0438(62)4075	0438(62)4520	http://www.seikouen-garden.com	info@seikouen-garden.co.jp
総武造園土木(株)	264-0020	千葉市若葉区貝塚2-4-28	043(231)5752	043(231)5362		soubu@viola.ocn.ne.jp
造園土木伊藤園(株)	286-0221	富里市七栄654-55	0476(93)0683	0476(92)5283		zo-itouen@nifty.com
袖ヶ浦興産(株)	299-0243	袖ヶ浦市蔵波26-2	0438(62)1111	0438(63)0333		so-5303@eos.ocn.ne.jp
(株)染谷園芸	277-0802	柏市船戸1011	04(7131)5987	04(7133)9149		someya_engei@kir.biglobe.ne.jp
大一造園建設(株)	270-1104	我孫子市新々田212-2	04(7189)2875	04(7189)4393		daiichi-zk@jasmine.ocn.ne.jp
(株)高橋造園	267-0066	千葉市緑区あすみが丘5-7-6	043(205)5544	043(205)5545		VZY04211@nifty.ne.jp
高山総業(株)	290-0005	市原市山木1183	0436(41)2378	0436(41)1674	http://www.takayama-s.jp	staff@takayama-s.jp
高山造園土木(株)	290-0011	市原市能満322-1	0436(42)3700	0436(42)3702	http://www.zouen.biz	takayama@zouen.biz
拓殖造園土木(株)	264-0007	千葉市若葉区小倉町132-8	043(236)1128	043(236)1967		takushoku@nifty.com
(株)田久保造園土木	270-1348	印西市戸神807-2	0476(46)0647	0476(46)3009		info@takubo-zouen.co.jp
田中園緑化土木(株)	277-0871	柏市若柴1-12	04(7131)4148	04(7131)4149		tanakaen@jcom.home.ne.jp
(株)田辺造園	285-0011	佐倉市山崎422-1	043(486)7945	043(486)7946		tanabe-zouen@brown.plala.or.jp
(有)千浜造園	270-1121	我孫子市中峠1279	04(7188)1061	04(7188)1261		land-sc-chihama@jcom.home.ne.jp
千葉グリーンサービス(株)	260-0041	千葉市中央区東千葉1-9-1	043(253)2115	043(253)2239	http://www.chiba-green.co.jp	office@chiba-green.co.jp
千葉グリーンセールス(株)	266-0011	千葉市緑区鎌取町71-6	043(291)2101	043(291)2124	http://www.chibagreensales.co.jp	cg@chibagreensales.co.jp
(株)千葉花壇	263-0043	千葉市稲毛区小仲台8-17-1	043(253)7224	043(287)7807	http://www.chibakadan.co.jp	e-garden@chibakadan.co.jp
千葉高等園芸(株)	275-0013	習志野市花咲2-8-21	047(472)0323	047(472)7942	http://www5.ocn.ne.jp/~hoshi666/	koutouengei@kjc.biglobe.ne.jp
千葉砂防植産(株)	260-0801	千葉市中央区仁戸名町357-30	043(261)3393	043(265)8719		chiba@sabou.co.jp
千葉造園土木(株)	263-0041	千葉市稲毛区黒砂台2-12-7	043(243)7721	043(243)7753	http://www.chibazouen.co.jp	landscape@chibazouen.co.jp

社名	〒	所在地	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
(株)千葉緑化サービス	264-0021	千葉市若葉区若松町496-2	043(421)4105	043(421)4106		c-ryokka@pluto.plala.or.jp
千代田緑化工事(株)	274-0068	船橋市大穴北2-23-17	047(457)3470	047(457)0117		chiyoda-g@ia5.itkeeper.ne.jp
築山緑化建設(株)	273-0012	船橋市浜町3-2-1	047(435)0540	047(437)0709	http://www.tkym-ryokka.co.jp	info@tkym-ryokka.co.jp
東丘施設管理(株)	267-0066	千葉市緑区あすみが丘4-39 ガーデント社の隣番地008	043(294)0617	043(308)7213		e.hill@m3.dion.ne.jp
(株)東松園	270-2261	松戸市常盤平4-20	047(387)6211	047(384)1820		info@toshouen.co.jp
(株)東城園	260-0042	千葉市中央区椿森6-8-17	043(254)2128	043(254)2126		tojoenchiba@rapid.ocn.ne.jp
(株)常盤ガーデン	277-0825	柏市布施914	04(7131)6126	04(7132)4414		soumu@tokiwagarden.co.jp
(株)徳受園	264-0032	千葉市若葉区みつわ台5-21-16	043(207)2855	043(255)9278		tokujuen@tkcnet.ne.jp
(株)トム造園	270-1177	我孫子市柴崎15-10	04(7183)1600	04(7184)6700		tomzouen@apricot.ocn.ne.jp
豊四季造園土木(株)	277-0812	柏市花野井1521	04(7132)1235	04(7132)1245		toyoshikizouen@jcom.home.ne.jp
中村造園土木(株)	299-0123	市原市深城624	0436(66)7801	0436(66)1070		d.asida@n-zouen.jp
(有)長野造園土木	285-0813	佐倉市石川630-36	043(486)2605	043(486)1410		nagano-zd@catv296.ne.jp
(株)流山緑化土木	270-0132	流山市駒木134	04(7152)4310	04(7152)4312		nagareyama-ryokka@helen.ocn.ne.jp
(株)成田園芸	286-0117	成田市三里塚1-390	0476(35)1665	0476(35)1482		cne-naritaengei@air.ocn.ne.jp
(株)成田造園土木	287-0244	成田市川上245-831	0476(36)4785	0476(36)4786		kk-naritazouendoboku@triton.ocn.ne.jp
(有)西原造園	270-2203	松戸市六高台5-90	047(387)0754	047(384)8939		masahiro@nishihara-zohen.co.jp
(株)西船グリーンサービス	273-0045	船橋市山手3-14-16	047(433)0683	047(433)1755		n-green@mvq.biglobe.ne.jp
橋本屋造園(株)	290-0021	市原市山田橋434-21	0436(43)3211	0436(43)3213		info@hashimotoya-zouen.co.jp
林園緑地建設(株)	275-0013	習志野市花咲1-10-3	047(472)0818	047(476)6607		hayashien@tea.ocn.ne.jp
林造園土木(株)	260-0001	千葉市中央区都町3-29-1	043(233)9411	043(233)9412		aec01214@nifty.ne.jp
フタバ緑化産業(株)	263-0023	千葉市稲毛区緑町2-1-10	043(243)0451	043(244)5739		info@futabaryokuka.co.jp
(有)藤井造園土木	275-0017	習志野市藤崎6-4-26	047(473)2953	047(472)3781	http://www.fujiizoen.co.jp/	info@fujiizoen.co.jp
藤木園緑化土木(株)	275-0024	習志野市茜浜1-6-4	047(453)1031	047(454)1375	http://www.fujikien.server-shared.com/	fujikien@triton.ocn.ne.jp
(株)宝珠造園土木	279-0003	浦安市海楽2-11-15	047(380)2510	047(380)1422		yshb22061968@luck.ocn.ne.jp
(株)芳松園	277-0872	柏市十余二380-100	04(7144)1641	04(7133)3274		houshouen@marusyo-kenzai.co.jp
(株)報徳緑化土木	285-0863	佐倉市白井146-1	043(489)7100	043(489)7080		houtoku@h8.dion.ne.jp
房総グリーンセールス(株)	290-0062	市原市八幡171	0436(41)1860	0436(41)1861		kamura@boso-green.co.jp
(株)北総園芸	286-0221	富里市七栄525-31	0476(93)3456	0476(93)6812		hokuso@mwd.biglobe.ne.jp
北総緑化開発(株)	285-0812	佐倉市六崎291-3	043(486)0016	043(486)0097		hokusou@bz03.plala.or.jp
(株)マスヤ	299-1603	富津市更和79	0439(67)0055	0439(67)1947		kmasuya@apricot.ocn.ne.jp
増栄産業(株)	299-0242	袖ヶ浦市久保田2171	0438(62)7118	0438(62)5522		masueisangyo@jcom.home.ne.jp
(株)三上造園	277-0074	柏市今谷上町47	04(7174)5311	04(7176)0511		mikami.lc@jcom.home.ne.jp
(株)ミヤノ	270-1327	印西市大森513-1	0476(42)8421	0476(42)8159		qq3t4zu9@air.ocn.ne.jp
緑造園土木(株)	265-0053	千葉市若葉区野呂町1793-317	043(228)3681	043(228)4926		t-yasojima@midorizouendoboku.co.jp
三木造園土木(株)	299-1161	君津市北子安1-14-12	0439(52)0559	0439(54)5059	http://www.mitsugi-zd.co.jp	mitsugi@poem.ocn.ne.jp
(株)ムサシ	299-0233	袖ヶ浦市岩井634	0438(75)3862	0438(75)3180		swrn@634musashi.co.jp
茂手木造園(株)	264-0012	千葉市若葉区坂月町29-1	043(233)1955	043(233)1906	http://www.motegi-zouen.co.jp/	info@motegi-zouen.co.jp
(株)森田植物園	273-0044	船橋市行田1-26-33	047(439)3822	047(439)3824		m.k@eos.ocn.ne.jp
(株)八千代グリーンテック	276-0046	八千代市大和田新田446-241	047(459)9211	047(459)9201		info@y-greentec.co.jp
(有)八千代緑化	276-0031	八千代市八千代台北17-15-10	047(485)7823	047(485)7830		info@yachiyoryokuka.co.jp
谷中造園土木(株)	292-0812	木更津市矢那2381	0438(52)2552	0438(52)2858		info@yanakazouen.co.jp
山崎緑化建設(株)	286-0006	成田市北須賀260	0476(26)9312	0476(26)1725		yama260@aurora.ocn.ne.jp
(株)山田緑地建設	292-0024	木更津市大寺1060	0438(98)0234	0438(98)0253	http://www6.ocn.ne.jp/~yamada77/	yamadaryokuti@isis.ocn.ne.jp
(有)山本造園	285-0836	佐倉市生谷1569-5	043(487)8435	043(487)8439		yamamoto-zouen@catv296.ne.jp

社名	〒	所在地	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
(株)ユアサ園芸	272-0811	市川市北方町4-2088	047(339)2444	047(338)4311	http://www.yuasa-k2-d.jp/	yuusaengei@if-n.ne.jp
(株)横川造園土木	278-0041	野田市蕃昌24-1	04(7129)1166	04(7129)1169		yokokawa@siren.ocn.ne.jp
(株)横芝緑化	264-0017	千葉市若葉区加曾利町720-4	043(232)5080	043(232)6323	http://www.yokoshibaryokuka.co.jp	info@yokoshibaryokuka.co.jp
(有)ランディックスガーデン	270-1431	白井市根633-1	047(492)3390	047(492)3335		landx@ams.odn.ne.jp
(株)緑建	277-0033	柏市増尾4-21-1	04(7172)6487	04(7174)2988		ryokuken@orion.ocn.ne.jp
(有)緑鈴造園	283-0016	東金市菱沼238-1	0475(58)7610	0475(58)2610		ryokurin@poplar.ocn.ne.jp
(資)林農社	285-0863	佐倉市王子台1-15-11	043(461)0636	043(461)1652		rinnousya@rinnousya.co.jp
(株)渡辺造園	289-2315	香取郡多古町御所台173	0479(76)7330	0479(76)2661	http://www.watanabezouen.co.jp	info@watanabezouen.co.jp

賛助会員

2社

社名	〒	所在地	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
(株)イズミ	270-0128	流山市おおたかの森3-3-3	04(7159)0462	04(7159)3294	http://www.izumi-garden.jp	izumi.kura@ag.wakwak.com
船橋港業(株)	273-0018	船橋市栄町2-4-25	047(435)1651	047(435)1652		funabashikougyou@mist.ocn.ne.jp

資格をとろう!

ショベル・玉掛・高車・小型移動式クレーン等


各種技能講習・特別教育・安全衛生教育

住友建機販売株式会社

住友建機教習所

千葉教習センター

千葉労働局長登録教習機関



技能講習

- 車両系建設機械(整地・運搬等)
- 車両系建設機械(解体用)
- フォークリフト、高所作業車
- 小型移動式クレーン、玉掛け
- 不整地運搬車 等

特別教育等

- 刈払機の取扱い
- 職長・安全衛生責任者
- 小型車両系特別教育
- 低圧電気取扱者 等

予約・お申し込みは

すみともけんき 千葉

検索

稲毛区長沼原町731-1
☎043-420-1549

ゼロ災害でいつも健康あかるい職場

千葉労働局長登録教習機関


(技能講習・特別教育・安全衛生教育・能力向上教育)

- ◇木材加工用機械作業主任者技能講習
- ◇チェーンソーを用いる伐木等特別教育
- ◇刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育

※下記へお問い合わせください。

林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部

(略称: 林災防千葉県支部) 〒283-0823 東金市山田 800番地
TEL 0475-53-0123 FAX 0475-53-2000



穴川神社のタブノキ



所在地：千葉県千葉市稲毛区園生町

樹種：タブノキ（常緑高木）

クスノキ科 タブノキ属

樹高：17m

葉張り：13m

幹周り：4.1m

樹齢：推定 270年

千葉市指定保存木



穴川神社は千葉市の住宅地の中心部にあり、境内のタブノキの巨木が周囲の住宅・道路を圧する様に元気に生育している。境内にはケヤキ、モチノキ、サクラ等も生育し都市林を形作っており千葉市の住宅地の中で、地域住民に保護され千葉市の保存木として生育している。

千葉では沿岸地で多くのタブノキが自生しタブ林を形成しているが、このタブノキは樹冠も雄大で、主幹を見るとこの木の歴史が感じられ、根元を見ると根張りがすごく一際目立つ存在である。

（樹木医 中村 元英）

一般社団法人 千葉県造園緑化協会

〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1-13-1 千葉県建設業センター 304号室

TEL 043-246-3040 FAX 043-246-3041

URL <http://www.zouen.or.jp>

E-mail info@zouen.or.jp

杜の都から始まる未来、
みどりを舞台に人が輝く



国内最大級の花とみどりの祭典

第40回全国都市緑化仙台フェア



未来の杜せんだい2023

～ Feel green! ～

2023 (令和5年)

4/26 ▶ 6/18
[Wed] [Sun]

入場
無料

メイン会場	青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区
まちなかエリア会場	仙台駅ペDESTリアンデッキ、定禅寺通、青葉通、宮城野通
東部エリア会場	せんだい農業園芸センター みどりの杜、せんだい3.11メモリアル交流館、震災遺構仙台市立荒浜小学校、海岸公園、高砂中央公園(仙台うみの杜水族館)
連携会場	東北大学 学術資源研究公開センター 植物園、七北田公園、仙台市野草園、八木山動物公園 フジサキの杜



主催：仙台市、公益財団法人都市緑化機構

